

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。  
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0 / A ¥ 1 8 9 0 / B ¥ 2 0 9 0 / C ¥ 2 2 5 0 / D ¥ 2 4 9 0}  
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

[www.tambourine-japan.com](http://www.tambourine-japan.com) email: [song@tambourine-japan.com](mailto:song@tambourine-japan.com)

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

Scotland(P4) USA{Old Time 他}(P23) CANADA{Trad 他}(P28)

### [CD/ISLE OF MAN]

- \*BARRULE: Barrule C  
(副題“Music From The Isle Of Man”。収録時 19 歳の Tomas Callister {フィドル、バズン、ヴォー}, Jamie Smith {ヴォーカル、アコーディオン、ギター}, Adam Rhodes {ブラス、ヴォーカル} の若者トリオはマン島のトラッドに果敢に挑む。Jamie の毅然として悠々としたシンギングの素晴らしさもさることながら、フィドルとアコーディオンの演奏の緻密さと大胆さ、その二台をメインに据えた演奏の構成の見事さは天下一品。2012 作。Wardfell)

### [CD/WALES]

- \*ALLAN YN Y FAN: NEWID A  
(Catrin O' Neill なる女性トラッド・シンガーとフィドル弾きの Alan Cooper を新メンバーに迎えた新生 Allan Yn Y Fan の新作。Allan Yn Y Fan 自体の音楽は、70 年代のブリティッシュ・トラッド風な土臭いトラッドで昨今のハイセンスなケルティックなトラッドとは一線を画した大御所トラッドの風合いで、Catrin の庭の花々に優雅なシンギングにお似合いのサウンドで、Catrin のシンギングも素敵に生えている。本作でのラインナップは三姫三太郎の六人組。2016 作。Steam Pie)
- \*JULIE MURPHY: Every Bird That Flies A  
(元 Fernhill のヴォーカルの J. Murphy の四枚目の新作。ウエールズのカントリーサイドの自宅でピアノの引き語りで作曲をしたという自作曲 6 曲と伝統歌 3 曲の計 9 曲。ピアノの引き語りを中心に制作された本作は、そのまま自宅で弾き語りしているような唄の瑞々しさと伴奏音楽の自由な清々しさ、それは彼女の音遊びするような、或いは室内で一音一音がエコーするような奏法によるところが多いと思われるが、そんな清々しい空気の中で、Julie の一筋の線を描くような、あるいは清い水の流れるようなシンギングは清々しく、深く、美しい。2016 作。Shells In The Ocean)
- \*GWENAN GIBBARD: Y Gorwel Porffor A  
(ウエールズ語を話す家庭で育ったという全曲ウエールズ語による Gwenan Gibbard の新作はハープの弾き語りによる 6 曲収録 CD。6 曲中 3 曲が伝統曲だが、彼女のハープの弾き語りには、伝統音楽一途というよりは、伝統音楽が子守歌のように真に身近な音楽として身につけていて、ウエールズ語の優しい響きのシンギングもハープの音色の真に優しい。すっかり春の花園で夢見気分保証。2015 作。Sain)
- \*GWENAN GIBBARD: Y Gwenith Gwynnaf B  
(ハープの小気味よい響きと Gwenan の美しく澄んだシンギングが作り出

- す世界は彼女独特な幽玄の世界。w. Maartin Allcock, Huw Roberts, Stephen Rees, Dafydd Roberts, Deian Elfryn. 2006 作。Sain)
- \*FFYNNON: Adar Gwylltion (二枚目。2006 作。Taith) B
- \*CARREG LAFAR: Ysbryd y Werin (1995 作。Sain) B
- \*CALENNIG: Trade Winds – Gwyntoedo Mor Hafren B  
(副題“Stories Of The Seven Sea”。1994 作。Sain)
- \*NANSI RICHARDS: Brenhines y Delyn B  
(副題。“Queen Of The Welsh Harp”。歴史的な録音集。44 トラック。Sain)
- \*LLIO RHYDDERCH: Malangell (2000 作。Fflach:tradd)
- \*MABON: OK Pewter B  
(アコ奏者の Jamie Smith のアコガリター格のアコースティック&エレクトリック混在の抜群のりのケルティック・ミュージック。Jamie のアコの演奏はエレキッシュな演奏も聴き物だが、数少ないスローな曲での泣き節も聴きもの。体当たりの演奏でほとぼしる情感が凄い魅力。Mabon)
- \*SIAN JAMES: Gweini Tymor (96 作。Sain) B
- \*SIAN JAMES: Di-Gwsq (97 作。Sain) B
- \*LLEUWEN: Penmon B  
(ウェルズの異色の SSW、Lleuwen 嬢の 2007 作。ウェルズ語の唄による夢心地な唄&音楽世界を創作。w. Huw Warren, Thad Kelly, etc. 2007 作。Gwymon)
- \*LINDA GRIFFITH: Storm Nos B  
(ウェルズはモンゴメリー・シンガーの本作は、全曲ウェルズ語で、ウェルズの伝統歌への愛情や家族への愛情が、Linda のたおやかなシンギングで心に深く響くもの。Linda の二人の愛娘の Lisa Angharad と Gwenno Elan Healy が美しいハーモニーを添えている。w. Gwenan Gibbard, Chris Leslie, Maartin Allcock, etc. 2009 作。Sain)
- \*SILD: Tro A  
(エストニア人でヴォーカルと Hiiu-Kandleid というエストニアのフイドル系楽器奏者の Silje Ilves とギター&ハモンド・オルガンの Martin Leamon のウェルズで活動する二人組の Sild の本作は 2 枚目。ウェルズとエストニアの伝統歌だが、Silje の野趣な味わいを秘めた軽快で美しいシンギングとスクワットは絶品。トラッド・ファン必聴。2008 作。Fflach)
- \*THE DEVIL'S VIOLIN a  
(副題“Roma Gypsy Music And Tales From Wales And Beyond”。アコ、ヴァイオリン、チェロによるマケドニア〜ルーマニア〜ロシアのジプシー音楽とジプシー音楽を伴奏にした北ウェルズに伝わるジプシーの二つの物語。この二つの物語は Daniel Morden's Award という賞受賞の本“Dark Tales From The Wood”からの物語。不思議なお話は Daniel Morden 本人。2007 作。Taith)
- \*BRAGOD: Kaingk B  
(ウェルズの 14~19 世紀の詩と音楽、イギリスの 6~7 世紀の詩集“The Book of Aneirin”からの歌と音楽そしてウェルズの 12 世紀のドラマ。Mary-Anne Roberts というシンガーの喉歌化する呪術的ヴォーカルは異空間へと運ぶしウェルズのヴァイオリン系古楽器の Crwth {クルス} とリラの伴奏と演奏は土俗的であり「異空間」度を増す。アワブやアビア的な匂いを

醸す古きウェルズ<sup>°</sup>のケルト音楽だ。P106の解説本付。CD-ROM機能付でシガ<sup>°</sup>と奏者の生演奏が捧める。2004作。Bragod)

- \*ROBIN JAMES-JONES:Telynegion B  
(Nanci Richards等にハープ<sup>°</sup>を教わったというウェルシュ・ハープ<sup>°</sup>奏者によるウェルズ<sup>°</sup>のトラッド<sup>°</sup>からアイルランド<sup>°</sup>、スコットランド<sup>°</sup>、アメリカのトラッド<sup>°</sup>そしてガ<sup>°</sup>ーシュインの“Summertime”まで。フォーク系ハープ<sup>°</sup>奏者の中では装飾の多いいわゆる一般にイメージされるハープ<sup>°</sup>音楽風。ハープ<sup>°</sup>による美しいケルト音楽・ファン向き。全15曲夢心地。2004作。Sain)
- \*ROBIN HUW BOWEN:Hen Aelwyd - Old Hearth B  
(副題“Welsh Music On The Triple Harp To Fire The Soul”。ウエールズのトリプル・ハープ<sup>°</sup>のソロ。1999作。Sain)
- \*WILD WELSH WOMEN:Death Of The King's Canary B  
(5人組の「野性ウェルズ<sup>°</sup>女達」はTamzin&Roziの入魂のガ<sup>°</sup>ォーカをメインに据えたトラッド<sup>°</sup>・バンド<sup>°</sup>。音楽性はエレガントなのから荒武者フォーク・ロックまで激流的。気概溢れる二人の女性のシギ<sup>°</sup>ング<sup>°</sup>の見事さに言葉なし。2003作。Airheart)
- \*ARFON GWILYM:Proc i'r Tan B  
(この中年トラッド<sup>°</sup>・シガ<sup>°</sup>ーは素晴らしい。Arfonの温厚なシギ<sup>°</sup>ング<sup>°</sup>とワトなウェルズ<sup>°</sup>語の響き、かつ主にハープ<sup>°</sup>の伴奏によるシギ<sup>°</sup>ング<sup>°</sup>はビールを片手に鼓舞するような朗々としたシギ<sup>°</sup>ング<sup>°</sup>をも柔和というか優雅な芳香を放つ。ウェルズ<sup>°</sup>の伝承歌を愛するAfronの極上のトラッド<sup>°</sup>・アルバム。英語解説&曲目解説付。2003作。Sain)
- \*PHIL TANNER:The Gower Nightingale D  
(副題“Ballads, Songs&Mouth Music from South Glamorgan recorded in the 1930s&40s”。1930年代に見出された南ウェルズ<sup>°</sup>出身の偉大なトラッド<sup>°</sup>・シガ<sup>°</sup>ーのP. Tannerの1937年のBBC録音曲等を含む貴重録音集。2003作。Veteran)
- \*BOB DELYN a'r EBILLION:Dore B  
(耽美的と言うべきか、女性シガ<sup>°</sup>ーのTwm Morysの美味シギ<sup>°</sup>ング<sup>°</sup>やハープ<sup>°</sup>伴奏の素朴な哀愁のフォークから入魂のフォーク・ロックそしてバルカン?アラブ?風味をも取り込んだ暗黒ロックまでレンジの広さは北欧トラッド<sup>°</sup>・バンド<sup>°</sup>をホ<sup>°</sup>ツさせる。2003作。Sain)
- \*RAG FOUNDATION:Minka ¥1000  
(特価。Rag FoundationはNeil Woollard{ガ<sup>°</sup>ォーカ}, Kate Woollard {ガ<sup>°</sup>ォーカ、フィドル}, Richard Cowell {ギター}のトリオ。w. Nigel Eaton, Julie Murphy, Ceri Rhys Matthews, Andy Cutting。唄は英語とウェルズ<sup>°</sup>語。99作。Fflach)
- \*CERI RHYS MATTHEWS・JONATHAN SHORLAND:Pibau C  
(副題“Welsh Bagpipe Music”。CeriはFarnhill。99作。Fflach)
- \*SIAN PHILLIPS:Gramundus C  
(副題“Traditional Welsh Fiddle Music”。98作。Fflach)
- \*OGAM:O Gam I Gam A  
(女性2名、男性3名の5人組ウェルシュ・トラッド<sup>°</sup>・グループ<sup>°</sup>。11曲中8曲がトラッド<sup>°</sup>曲。彼等のトラッド<sup>°</sup>へのア<sup>°</sup>ローチの仕方は、クラシック寄り。2000作。Sain)

[CD/CORNWALL]

\*NIGEL (An Gwer) ROBERTS & FRIENDS: Just Is A  
(Nigel Roberts {通称 An Gwer} は自称「ケルトの吟遊詩人」。彼自身は  
ダルム、ハープ、フイドル、マンドリン、バウロン等を演奏し、飄々とストーリー性  
のある唄をうたう。印象はずばり、Robin Williamson&His Merry  
Band。初めて聴いたとき、彼の自在錯誤の音楽に「今時、うそでし  
よう！」というのが正直な感想。彼の仲間との音楽 [楽器はハーディ  
ギター、スモールパイプス、ホイッスル、リコーダー、バンジョー、ベース、ジャンベ、トラン  
ペット、クラリネット等+女性ヴォーカル] は、まるで中世の広場でうたい、踊り、  
演奏する楽士。70年代に帰った気分。本作は薄型ケースのCDR製で、ジ  
ャケットは簡素。裏ジャケットはない。2004年と2006年の録音。An Gwer)

### [CD/ENGLAND/SCOTLAND]

\*MICK GROVES: Fellow Journeyman B  
(副題“The Songs of Ewan MacColl”。20曲中16曲がEwan {Iwan}  
MacCollの曲。白髪でウエスタン・フォーク・シンガーの風貌のM. Grovesによる  
朗々たるフォーク・ソング。Produced by Phil Beer。2004作。EXEG1)

### [LP/SCOTLAND]

\*DICK GAUGHAN: Handful Of Earth D  
(不朽の名盤。LPにて再発。81/2009作。オランダ 6spices)

### [DVD/SCOTLAND] PAL

※パソコン又はPAL方式再生可能DVDプレーヤー/で再生可能

\*BARBARA DICKSON: Che Faro D  
(1986年のBarabara Dicksonのテレビ番組のDVD。ライブを中心に子  
どもの頃から80年代までの音楽人生を語るドキュメンタリー・フィルム。ライブは  
“The Caravan Song”, “Boulder To Birmingham”, MacCrimmon’s  
Lament” {素晴らしい無伴奏シンキング!}, “Easy Terms”, “Nana”  
{スペインの子守唄}, “Che Faro”。この頃、フォーク・シンガーとしてスター街道  
まっしぐらだった彼女はクラシックに挑戦。その練習なども。50分。  
2012作。BARB1DVD)

\*DONNIE MUNRO: Field Of The Young D  
(CD“Field of the Young”の映像版に二つのコンサート・ライブ映像が収  
録。約2時間。2004作。Hypertension)

### [DVD/SCOTLAND] NTSC all regions

※国内製DVDプレーヤーで再生可能

\*IVAN DREVER&DUNCAN CHISHOLM: A Long December Night ¥1500  
(Duncanの自宅で収録された本作は北スコットランドの12月の長い夜、静  
かだが、二人のスピリットに充ちた唄と音楽がとめどなく流れる。スコ  
ットランド・ファン宝物。2004作。Highlander Music)

### [CD+DVD/SCOTLAND]

※国内製DVDプレーヤーで再生可能

\*ALY BAIN: Aly Meets The Cajuns ¥2880  
(DVDケース入りDVD+CDセット。1988年、スコットランドのテレビ番組で放送された

Aly Bainがアメリカのケイジャンとザ・デ・イコのミュージシャンと共演したドキュメンタリー・フィルム完全版+CD。CDはリマスターで再発。共演者はDewey Balfa, Boozoo Chavis, Michael Doucet, Marc Savoy, Ann Savoy, Queen Ida, D L Menard, Hary LaFleur, Wayne Toups。DVDは51分、CDは55分。この番組からTransatlantic Sessionsシリーズへと発展する。1988/2012作。Whirlie)

- \*ALISON KINNAIRD: The Silver String D  
(CDとDVDのセット。本作を聴いて驚くのは金属弦とガット弦の小型ハープでスコットランドの古いパイプ・チューンやラメント等を当時のハープの音色を再現するかのよう古風かつ優美かつ気品ある音色を創造していること。もうそれは魂の響きとしか言いようもないハープの音色。ゲスト: Christine Primrose, Ann&Charlie Heymann, Robin Morton。DVDはガラス工芸品の製作フィルムとライブ演奏2曲とインタビュー等。2004作。Temple)

### [CD/SCOTLAND]

- \*SIOBHAN MILLER: Strata B  
(Jeana Leslie & Siobhan MillerのSiobhanの待望の二枚目のソロ。本作は彼女がスコットランドの伝承歌に目覚めた頃からの愛唱歌集で、現在考え得る細心のトラッド・サウンドで創作したものの。Dick GaughanやSheila Stewartなどのスコットランドのトラッド・シンガーのレパートリーなどを愛唱してきた彼女のシンギングは、人知れずひっそりと咲く野花の美しさ。美しいが、どこか陰のある芯の強い美しさ。Siobhanは例えば、“The Month Of January”や“Bonny Light Horseman”などの伝統歌に加え、Dick Gaughanのレパートリー二曲など、主に1970年代の著名トラッド・シンガーがレパートリーにしたトラッドやフォークを感情を抑え、凜としたシンギングでうたい通す。Aaron Jones {ブザーキ}, Kris Drever {ギター}, Ian Karr {ギター}の伴奏をベースに組み立てられたケルティック・サウンドは、最高レベルのサウンドを爪弾き出している。Bob Dylanの“One Too Many Mornings”に“The Unquiet Grave”と“False, False”の伝統歌二曲のもの悲しい美しさは例えようもない。w. Aidan O’Rourke, Megan Henderson, Phil Cunningham, etc. 2017作。Songprint)
- \*SPIRITUAL MUSIC FROM THE HEBRIDES B  
(副題“Live At An Lanntair Isle Of Lewis”。本作は長年、スコットランドのヘブリディーズ諸島の島々でうたわれてきた「シャン・ノース」スタイルの聖歌を選び抜かれた？主に女性トラッド・シンガー達が朗唱したライブ・アルバム。Isobel Ann Martin {二曲}, Jenna Cumming, Chrissie Morrison, Emma Macleodなどの各歌姫達のスコットランドのゲール語のシンギングは秀逸で、とりわけ、一曲目“An Ribhinn Donn”でのDuncan Chisholmの神秘的なフィドルの演奏で幕開けし、そのまま泣きのフィドルの伴奏で始まる二曲目の“Gloir An Uan”でのIsobel Ann Martinのシンギングは、例えようもなく美しい。女性シンギングの間に男女混成のご詠歌風の合唱を挟む曲の構成で、全体を通して、厳かな空気に包まれ

ている。2017 作。An Lanntair)

- \*ANGUS SMITH AND NORTH 56:One Day B  
(リード・ヴォーカルの Angus Smith は 1998 年のゲール語文化フェスティバル“Mòd”の金メダリストだそうだが、彼と彼のバンドによる本作を聴いて、ぶっ飛んでしまった。おそらく Runrig に対抗意識を持っているであろう Angus のヴォーカルの熱さと孤高さに惚れ惚れしてしまう。加えて、ストレートなフォーク・ロックは体に美味しい。圧巻は二曲目と最後に収められた曲。二曲目はゲール語の曲“Tha Mi Seo”で最後の曲は“Tha Mi Seo”を英語でうたったもの。二曲目は子ども達の合唱も加わっていて、スコットランド魂が濃厚。バンドのメンバーは Dave Hobbs, Finlay MacDougal, Iain Coates, Ewan MacDonald。ゲスト: Dougie Pincock。2017 作。Angus Smith Music)
- \*THE COMPLETE SONGS OF ROBERT TANNAHILL VOLUME IV C  
(ロバート・バーンズの影響を受けたスコットランドの詩人 Robert Tannahill {1774-1810} の詩歌集の Vol. 4。全 20 曲。17 曲目を除き、Claire Hastings, Rod Paterson, Fiona Hunter, Brian O hEadhra, Wendy Weatherby の 5 名のトラッド・シンガーが代わる代わるうたう。簡素な伴奏によるシンギングがスコティッシュ・トラッドの素朴な味わいを高めている。2017 作。Brechin All)
- \*SONG CIRCLE:The Lullaby Album C  
(Song Circle は Gill Bowman{ヴォーカル、ギター}と Siannie Moodie{クララサッハ)の女性二人組。トラディショナル 16 曲と Gill の自作 5 曲の計 21 曲の子守歌集。Jenna のゲール語の子守歌も素晴らしかったが、クララサッハの粒立ちの良いスコットランド風味の音色を活かした優しいサウンドと Gill の優しいシンギングによる Song Circle の子守歌は、ゆりかごで赤ちゃんをそっとあやすような趣で、これまた素晴らしい。何と言うか、ぐずってる赤ちゃんも二人の、心からの優しい子守歌を聞けば、静かに寝入ってしまいそう。2016 作。Brechin All)
- \*JENNA CUMMING:Taladh – Gaelic Lullabies B  
(収録曲 13 曲全曲スコットランドのゲール語の子守歌。そのほとんどは古謡で無伴奏。不思議なことに、Jenna のシンギングは全くと言ってよいほど無伴奏であることを忘れさせる美しさ。その美しさは言葉では表現出来ない母親がわが子を思うような深い美しさ。数曲オルゴールや古いハーブの響きのような伴奏を伴った子守歌が収められていて、すっかり和んでしまう。静かな空気感の中で響きわたるゲール語の唄の響きとともに夢の中。2017 作。Clann Sona {「幸運な子ども達」の意})
- \*MANRAN:Mànrán B  
(Mànrán の澆刺デビュー作。2011 作。Mànrán)
- \*BATTLEFIELD BAND:The Producer's Choice B  
(Temple レコードの Robin Morton が選んだ Battlefield Band のベスト・セレクション 19 曲。選ばれた曲の演奏者は、Alan Reid, Duncan MacGillivray, Jamie McMenemy, Alistair Russell, Brian McNeill, Dougie Pincock, Sylvia Barnes, Alasdair White, Sean

- O' Donnell, Iain MacDonald, Ged Foley, Mike Katz, Davy Steele, Pat Kilbride, Ewen Henderson, Jenny Clark, John Gahagan, John McCusker, Karine Polwart. 2017 作。Temple)
- \*BARBARA DYMOCK: Hilbert's Hotel B  
(2011 年の一枚目。"Billy Taylor", "The Unquiet Grave"ほか全 15 曲。Barabara Dymock)
- \*CALM AND RORY MacDONALD: The Band From Rockall C  
(Runrig の創設メンバーの Calm&Rory 兄弟の本作は、感涙のスコティッシュ・フォーク・ロック。ロックやポップスに熱狂した青春時代に想いを馳せた心からの唄とロックはどこか懐かしくて、あったかい。2012 作。Ridge)
- \*DONNIE MUNRO: Sweet Surrender - Live Acoustic D  
(元 Runrig のフロントマンの Donnie Munro のライブ 二枚組。Donnie は 2014 年に Eric Cloughley [ギター、バックিং・ヴォーカル], Maggie Adamson [フィドル] とアコースティック・トリオを結成。本作はそのトリオで行ったコンサートのライブ盤。僕などは Donnie Munro=Runrig のイメージがあるが、本作を聴くと、そのまま Runrig のアコースティック版として、馴染んでしまう。彼の唄はそのまま「スコットランドの声」として優しく、パワフル。アコースティックだが、唄も音楽も熱い。そして感観客も。全 19トラック。2015 作。Hypertension)
- \*RUNRIG: The Essential A  
(1981 年～1996 年収録の音源からの 16トラック収録の編集 CD。偉大なスコティッシュ・ロック・バンドですな。2007 作。Capitol)
- \*RUNRIG: In Search Of Angels (99 作。Columbia) A
- \*SHOOGLENIFTY: Radical Mestizo (Shoogle) C
- \*SHOOGLENIFTY: Roots (2007 作。Shoogle) C
- \*ALISTAIR RUSSELL: A19 B  
(元 Battlefield のシンガーでギター奏者の Alistair の 2002 年作。Dave Burland, Karine Polwart, Maartin Allcock, John McCusker, John Martin, Kieran Halpin, Chris Sherburn 等の心からのバックアップで、伝統歌を中心に Andy Irvine や Archie Fisher 等の曲を滋味豊かにうたう。秋の夜長の良き友。2002 作。Glade)
- \*ALISTAIR RUSSELL & CHRIS PARKINSON  
: A Glass And A Mile B  
(元 Battlefield Band のシンガーでギター奏者の A. Russell とアイルランドの Mayo をルーツとするアコ奏者の C. Parkinson による二枚目。大半はアイリッシュ。Alistair は父親から多くのアイリッシュ・ソングを聞かされたという。Alistair の唄は Battlefield Band の流れを引く印象だが、その流れの中でも愁いのある曲ばかりをうたっていて、何やら「心の唄」的な内容で、聴いていて、懐かしい気分になってしまう。2013 作。Glade)
- \*BATTLEFIELD BAND: Happy Daze A  
(Karine Polwart, John McCusker, Alan Reid, Mike Katz がメンバーの最強 Battlefield の 2001 年作。Temple)
- \*BATTLEFIELD BAND: Dookin' A  
(彼等らしいイキサ行儀な演奏と Alan のお涙頂戴のソングで泣き笑

いさせる。「一曲一曲が琴線に触れる演奏と唄」と簡単には片付けられない感動的な音楽。2007 作。Temple)

\*UP IN THE AIR: Moonshine

A

(Up In The Air は、Old Blind Dogs の創設メンバーの二人の Jonny Hardie {フイドル、ギター、ヴォーカル} と Davy Cattanach {ハーモニカ、ギター、ヴォーカル} に Iron Horse の Gavin Marwick {フイドル} のスーパー・トリオによる 2012 年のアルバム。スコティッシュ臭の強い Dave のシンギングが素晴らしく、全体として Old Blind Dogs 的なスコティッシュをベースに自在な音楽を創作していて素晴らしい。

Up In The Air)

\*CHERRY GROVE: No Time Like Now

A

(若き女性四名 = Marianne Fraser {ヴォーカル、ギター}, Mhairi Mackinnon {フイドル、ヴォーカル}, Sarah MacNeil {ハーモニカ、ヴォーカル}, Heather Shelley {ピアノ、ヴォーカル} + 男性 = Grant McFarlane {アコ、ヴォーカル} 一名のエキサイティングなスコティッシュ・トラッド・バンドの爽快デビュー作。彼女たちは若い女性ならではの可憐かつ萌え立つセンスを活かして、今日的感覚のグルーヴィーなケルティック・ミュージックを軽やかに創作しきっている。加えて Marianne 唄はフォーク系シンガーとして最高に魅力的。2014 作。Cherrygrove)

\*MAGGIE MacINNIS: Spiorad Beatha

B

(自身のハーモニカ又はピアノの弾き語りによるガール・ロック・ソングの美しさと気持ちは流石。w. Flora MacNeil, Keith Easdale, Graeme Hughes, Marie Felding, Brian McAlpine, Charlie McKerron, etc. ゲール語原詩&英訳付。2001 作。Marram)

\*ESME'S ADVENTURE "The Girl With The Purple Harp"

C

(本作は 11 歳の時に脳腫瘍を患い、2013 年に 18 歳の若さで亡くなった女性ハーモニカ奏者の Esme Morris Macintyre に、スコットランドのハーモニカ奏者達が Esme のために作曲し、捧げたアルバム。伝統曲は "The Arran Boat" の一曲のみ。演奏家は、Sileas が二曲演奏している以外は、ハーモニカ奏者或いはグループが一曲ずつ演奏。収録曲は全部で 14 曲。演奏者は異なるが、曲調が主にスコティッシュ風の曲作りなのと、ほとんどの演奏が控えめで、石清水のように澄んだ音色の響きを放っていて、不思議なことにアルバムとしての統一感が感じられる。本 CD の売り上げの全額は英国の「Teenage Cancer Trust」という NPO に寄付される。P16 のブックレットには元気な頃の Esme の写真がいっぱい。2015 作。Teenage Cancer Trust)

\*CHRIS STOUT & FINLAY MacDONALD: The Cauld Wind

C

(Chris Stout の相方の Catriona MacKay が Olov Johansson と組み、一足先に素晴らしい音楽を発表したが、Chris がハイランド・パイプ奏者の Finlay MacDonald と組んだ本作は、Catriona&Olov の上昇気流音楽のレベルに劣らぬ唯一無比の素晴らしい音楽。Chris&Finlay は伝統性に重きを置きつつ、産み落とされた音楽は革新的で典雅で高潔。音楽のすべてのレベルが高く、魅力的。こんなわくわくするようなスコティッシュ・ミュージックは聴いたことがないと思ってしまう。パイプとフイドルの組み合わせによる新たな魅力的なスコティッシュ・ミュージックを創作している。心にピンピン響く。スコットランドの人なら、もう感



- 電死。2013 作。Chris Stout Music)
- \*CRUINN:Cruinn C  
 (スコットランドを代表するトラッド・シンガー 4 名 {Rachel Walker, Fiona Mackenzie, James Graham そして Brian O hEadhra} から成る Cruinn の一枚目。トラッド・シンギング・アルバムの傑作。2013 作。Cuinn)
- \*CHRIS SHERBURN & FINDLAY NAPIER C  
 :Two Men On A Boat  
 (スコットランドのトラッド・グループ“Back Of The Moon”のシンガーでギター奏者の F. Napier と英国のトラッド・グループ“Last Night's Fun”のコンサート奏者の C. Sherburn のデュオ・アルバム。C. Sherburn は伴奏に徹していて、実質的にヴォーカルの Findlay のソロ・アルバムのだが、これが抜群に良い。Dick Gaughan の“Live In Edinburgh”, Nic Jones の“Penguin Eggs”等を二人共通の“Great Album”とし、本作を制作した二人だが、Findlay のスコティッシュなまりのヴォーカルは、柔らかくも毅然とした孤高感があって、心に響く。ブリティッシュ・トラッド / フォーク・アルバムの名盤。2014 作。Lister)
- \*EWAN McLENNAN:Rags & Robes B  
 (E. McLennan の心にしみる名盤。w. Jackie Oates, Peter Tickell。2010 作。Fellside)
- \*TWELEFTH DAY:The Devil Makes Three B  
 (Nua にも参加したスコットランドの若き歌姫でフィドル弾きの Catriona Price と各種ハープ弾きでヴォーカルの Esther Swift の女性の二人組のとびっきりの新作。Catriona のフィドルは、まるでスコティッシュ・ミュージックの酸いも甘いも知ったかのようなスピリットの高い演奏をこともなげに奏で、若々しく自在なとびっきりの演奏で魅了する。相方の Esther のハープは、Catriona の演奏に感応するようにハープを爪弾き、音楽を彩り、Catriona の演奏と一緒に舞い踊る。ハイレベルなスコティッシュ・サウンドに彩られた二人のシンギングは、まるで花園の花。2014 作。Orange Feather)
- \*NUA:Head Full Of Dreams B  
 (Cara といとこの Nua といい、ドイツから世界トップ・クラスのケルティック・バンドがデビューした。メンバーは男女各二名の四人組。四名の内三名がドイツ人で一人がスコットランドのオークニー島出身。ヴォーカルはこのオークニー島出身の Catriona Price {Joy Dunlop And Twelfth Day のメンバー} と、もう一人 Michaela Grus の二人の若き歌姫。曲目はアイルッシュとスコティッシュとオリジナルとをブレンドにして、この月の快樂さはもう抜群。Catriona はトラッド・シンガーとして、今が旬。Liekedeller)
- \*KATIE McNALLY:Flourish A  
 (Long Time Courting の女性フィドラー Katie のソロ。米国でスコティッシュ・フィドルを習得し、仕上げでスコットランドに渡って習得した Katie の演奏は米国人だからこそか、スコティッシュ・スタイルのフィドルの魅力を感覚的にかつ実践的に熟知していて、メチャ最高！2012 作。Katie McNally)
- \*THE CAMPBELL OF GREEPE:No. 2 Greepe B  
 (Kenna Campbell, Seamus Campbell, Mary Ann Kennedy, Wilma

Kennedy, Maggie Macdonald の五人組スコットランド・ゲール語のファミリー・シンギング・グループ。Kenna {1937 年生まれ} と Seumas 夫妻の娘が Mary Ann と Wilma で Wilma の姪が Maggie。Kenna は 1959 年の National Mod の優勝者。彼ら家族が今日のスコティッシュ・ミュージックのゲール語音楽の発展の一翼を担ってきたことは、ご存知の通り。驚くのは Kenna&Seamus 老夫婦のかくしゃくとしたシンギングの見事さ。娘達の澄んだシンギングとの微妙な声の違いから生み出される彩と綾が何とも力強くも優しく美しい。曲目にはない 14 曲目には Kenna の生のシンギングが収められていて、感動。スコティッシュ・トラッドの名盤。2014 作。Watercolour Music)

\*AALD NOOST

B

(棚で発見した貴重なシエラントの音楽。収録年は 1994 年。本作の発案者はピアノ奏者の Violet Tulloch アコーディオン奏者の Iain MacPhail。二人は音楽仲間 {フィドルの Ronnie Jamieson、アコーディオン奏者の Brian Morrison、ベースの Cecil Hughson、Douglas Johnstone} を誘って、シエラントの伝統音楽のスタイルに則った音楽を自分たちのアレンジで演奏したのが本作。ケリー・バンド・スタイルのシエラント音楽は、シエラントでは当時としてはニュー・ウェイヴだったのだろう。ダンスの風景が目に浮かぶダンス曲の数々。短い曲解説に一曲一曲への思い入れが端的に綴られていて、演奏者の「曲の好きさ」がよくわかる。録音はオークニー諸島。在庫数枚。Attic)

\*LUKE DANIELS GLASGOW CITY CELTIC COLLECTIVE

:Mother Glasgow

C

(Luke Daniel の祖母はスコットランドのレフューの出身。その縁で実現したたプロジェクト。本作はグラスゴーで活動する生え抜きのミュージシャン総勢 24 名 [Luke Daniel を含む] による汎ケルティック・ミュージックという汎ケルティック・ミュージック歴史絵巻。その絵巻はスコットランド音楽と親戚関係のある米国のブルグラスにまで及ぶ。総勢 24 名だが、一曲一曲は通常のバンド・スタイルで、このメツ {Paul McKenna: 11 曲目 "Jamie Raeburn's Farewell" は感涙なしには聴けない}, Kris Drever, Jarlath Henderson, Ross Ainslie, Matheu Watson, Simon Thumire, Patsy Reid 他} なら、曲の完成度の高さは言わずもがな。Luke の頭の中は、先祖への想い。2013 作。Wren)

\*FIONA DAVIDSON: The Language Of Birds

C

(1998 年リリースのケルティック・ハープの弾き語り。9 曲中 6 曲が Storytelling、つまり「語り」で、3 曲が唄。Fiona はハープを爪弾き、語りと唄で、古代吟遊詩人の神秘的な語り部の世界、ケルトの伝説の世界へと誘う。1998 作。Watercolour)

\*ALY BAIN, ALE MOLLER, BRUCE MOLSKY: Meeting Point

C

("Live At The Liverpool Philhamonic". Aly Bain と Ale Moller にオールド・タイム・フィドルでシンガーの Bruce Molsky が加わったトリオでのライブ。Aly Bain のフィドルをフィーチャーしたシエラントの曲では Ale がマントラが気品のある彩りを添え、Bruce のヴォーカルとフィドルをフィーチャーした米国のトラッドでは Ale がマントラが気品のある彩りを添え、二人の民俗色豊かな音楽をシェイプアップし、Ale のマントラをフィーチャーした北欧の曲では二人のヴァイオリン・フィドルは北欧スタイルのフィドルで遊び、その遊びの後には本来の自身のスタイルのフィドルで遊んだり、シエラントとスウェーデンと米

国のトラッドの演奏名人の三人による最高に美味しいミックス・ジュース音楽。2013 作。Whirlie)

- \*ALY BAIN & ALE MOLLER: Beyond The Stacks C  
(シエラランドのフイドル曲を中心に数曲のスクエーションの曲を加え、A. Bain と A. Moller がそれぞれの国の音楽性を共有し、共演したもの。2007 作。Whirlie)
- \*DUNCAN CHISHOLM: Live At Celtic Connections C  
(2013 年の Celtic Connections のライヴ。会場は Kelvingrove Art Gallery。今日、スコットランドの泣きのフイドルでは彼の右に出る者はいない。ソで、デュオで、グループで、会場のアート・ギャラリーの展示物に負けないうスコティッシュ・ムードの音の絵を描く。スコティッシュ・トラッドの7ビ・ザ・のフレーズがふんだんに盛り込まれた極上の演奏は、すっかり極楽気分。一緒に音の絵を描く共演者は、Jarlath Henderson {イリッシュ・パンパイプス}, Allan Henderson {フイドル、ピアノ} Matheu Watson {ギター}, Martin O' Neill {バウロン}, Ross Hamilton {ベース}。Copperfish)
- \*KRIS DREVER: Black Water And Live C  
(K. Drever の 2006 年のデビュー作 {全曲ミックスをやり直している} とグラスゴーの Old Fruitmarket での 2008 年のライヴ {12 曲収録} の 2 枚組 CD。ライヴは、Karen Matheson, Heidi Talbot, John McCusker, Ian Carr, Ewan Vernal, Andy Seward, Donald Shaw, Andy Cutting, Donald Hay, Roddy Woomble と豪華な顔ぶれ。もちろん新しいパッケージとブックレット。2007/2012 作。Reveal)
- \*THE PAUL McKENNA BAND: Between Two Worlds A  
(この若手バンドは最高。リーダーでヴォーカルの P. McKenna のヴォーカルが絶品で、心に沁みるし、加えて、P. McKenna のギター、David McNee のブラス、Sean Gray のフルート&ホイッスル、Ewan Baird のバウロンそして屈指の若手フイドル奏者の Ruairidh Macmillan のフイドルによるセッションする演奏のワカ度度はもの凄い。2009 作。Greentrax)
- \*DUNCAN WOOD & GUESTS: Swarbricks B  
(本作のアイデアは Cathal McConnell と Duncan Wood が Swarb と Edinburgh Folk Club で共演したことに始まる。全曲 Swarb 作曲の曲で全 17トラック収録。マントリン、マントーラ、フイドル、ヴァイオリン、バウロン等を演奏する Duncan は、Swarb の曲は完成されていて、簡単には編曲不可能と判断し、じゃあセッションで作ろう！ということになって、Cathal McConnell {フルート、ホイッスル}、Martin McDonald {ギター、ボーンズ}、Gavin Sutherland {ギター}、Maureen Hunter {ハープ} の仲間とフォーク・クラブでセッションするように作ってしまったのが本作。これが功を奏して、まるで Boys Of The Lough のようなスコティッシュ・トラッドっぽい音楽に自然変化。ギター系楽器が多い分、音楽の粒立ちが良く、軽やかで優雅に響いている。聴いてすぐに Swarb の曲とわかる人はよほどの Swarbマニア!? 2013 作。Beaechwood)
- \*ALASDAIR ROBERTS & FRIENDS: A Wonder Working Stone B  
(Dougie MacLean と活動を共にしていた Andy Roberts の息子、Alasdair の本作は、70 年代ブリティッシュ・フォークの香りがプンブン。不思議な懐かしい感じの音楽。2013 作。Drag City)
- \*ALASDAIR MacIILIEBHAIN: Las B

(別名 Alasdair Whyte.スコットランドのガール・ソングのコンテスト優勝者  
Alasdair のデビュー作は、野郎ながら何とも美しいガール・ソング・アル  
バム。Alasdair のオリジナル曲が半数の本作だが、唄のストーリーは伝統歌  
集的。柔和なシンキングの感じが、僕の大好きな Arthur Cormack に似  
ていて、病みつき。2012 作。Watercolour)

- \*PAULINE VALLANCE:Golden Slumbers C  
(スコットランドのクラリネット{スモール・ハープ}の弾き語りによるスコットランドの伝統  
歌を中心にした子守歌アルバム。ライター・ノートに書かれているように、赤  
ちゃんや子どもを寝かせる音楽であると同時にスコットランドの伝統的  
子守歌を旅する音楽にもなっている。Pauline のクラリネットの弾き語り  
は優しく心地よい。ハープの演奏はアルバム中心のシンプルで美しい演  
奏なので、ハープ奏者の練習曲にもなりそう。“Golden Slumber”に  
始まり、“Dream Angus”{Pauline の母親がよくうたっていたとい  
う}で終わる全 12 曲。2012 作。Enterprise Music Scotland)
- \*MACMASTER・HAY:Hook B  
(Sileas の Mary Macmaster と打楽器奏者の Donald Hay の 2 枚目。ハープ  
の音楽、スコティッシュ・ミュージックの最前線の音楽。驚くのは Mary のシンキング  
の素晴らしさ。特にタイトル曲“Hook”{Waulking Song}でのシンキングの  
魔性的ムードはドキドキとってしまう。2012 作。MDMC)
- \*KARINE POLWART:This Earthly Spell A  
(2008 作。Hegri Music)
- \*LIONEL McCLELLAND:To Wyle Us Hame B  
(2010 年 9 月、心不全で亡くなったスコットランドを代表するフォーク・ソングーの  
L. McClelland の亡くなる前に収録を終えていたソロ。スコットランド語のソ  
ングーであり、ストーリーテラーであり俳優だった Lionel は、“The Complete  
Songs Of Robert Burns”のシリーズの制作に情熱を傾けたことでも  
知られる。本作に収められた Lionel の唄は温もりの感じられる穏  
やかな自作作曲中心の唄。w. Pete Clark, Marc Duff, Aaron Jones,  
Paul McKenna, Rod Paterson, etc. スコットランド音楽の重要作。2012 作。  
Actually Productions)
- \*KRIS DREVER, EAMONN COYNE AND MEGAN HENDERSON  
:Kris Drever, Eamonn Coyne And Megan Henderson ¥1280  
(Lau のメンバーでフォーク・ソングーの Kris Drever と仲間によるリラックス・ムード  
の中にもピリッとハリのある Kris の唄 3 曲とバンジョー、ギター、フィドルによ  
るセッション 2 曲。Kris がうたう“Parcel Of Rogues”{Trad}, “Wild  
Hurricane”{Sandy Wright}/“Lament For Glencoe”{Trad}, “Shady  
Grove”{Trad}の 3 トラックは、もう抜群。2012 作。Reveal)
- \*SIMON CHADWICK:Old Gaelic Laments C  
(本作は 15 世紀の金属弦ハープ {クラリネット} クイーン・マリー・ハープの復元ハープに  
よる 16~18 世紀の哀悼歌集。Simon の演奏は普段聴くスコットランドのハ  
ープともアイルランドのハープとも趣を異にしている。Simon の演奏はいに  
しえの宗教的な音楽の世界に身を委ね、その陶酔の中で、最上の美  
しい音色を爪弾いているのよう。色彩感のあるリズムの連なりが不  
思議なメロディーを創り出している。2012 作。Early Gaelic Harp)
- \*SKETCH:Shed Life B  
(一瞬 Martin Bennet!?)と思ってしまう冒険心旺盛なスコティッシュ・ミュージック

ッ。しかし音楽のコンセプトはハイランド地方の農閑期のダンス音楽。バンドメンバーはスコティッシュ・シガーの Maeve Mackinnon にフィドルの Neil Ewart, パイプ、ホイッスルの Steven Blake, ギターの Chris Waite, パーカッション、プログラミングの Iain Copeland。スリリングなスコティッシュ・ダンス&ディスコ・サウンドの嵐の中 Maeve は神がかってスコティッシュ・ゲール語でシンキングする。免疫力のないスコティッシュ・トラッド・ファンには危険な音楽。でも力は最高！ゲスト: Ross Ainslie, John Spiers。2012 作。Skye)

- \*PATSY REID: Bringing The Gap A  
(スコティッシュ・フィドル奏者 P. Reid の 2008 年作。w. Mhairi Hall, Aidan O'Rourke, Anna Wendy Stevenson, etc. Vertical)
- \*JENNA REID: Morning Moon B  
(過去、シエラランドの Filiska、スカイ島の Dochas そして Deaf Shepherd のフィドラーとして活動したシエラランド・フィドラーの Jenna の本作は、シエラランド・フィドルから広くスコットランド・フィドルそして海を渡ってケープ・ブレトン・フィドルとフィドル・ミュージックの幅を広げてきた Jenna の音楽を盛り込んだ作品。w. Kevin Mackenzie, Bethany Reid, Kathleen Boyle, Olov Johansson, etc. 2012 作。Lofoten)
- \*JENNA AND BETHANY REID: Escape B  
(第二次世界大戦下に北海で起こったある楽器制作者の逃避劇の物語の一場面一場面をシエラランドの若手随一のフィドラーの Jenna Reid と妹の Bethany [フィドル&ピアノ] が作曲し、二人で演奏した音楽。音楽はいわばシエラランドの伝統音楽を中心に据えた創作音楽で、緩急自在でイマジネーション豊かな音楽を含め Cattieanna McKay&Chris Stout の高潔な音楽世界に通じるし、肩を並べている。2010 作。Lofoten)
- \*THE SCOVILLE UNITS: The Scoville Units a  
(注目すべきスーパー・ケルティック・ブルーグラス・バンド。メンバーは Flook の Ed Boyd に Show Of Hands の Miranda Sykes, Daily Planet の Leon Hunt, Josh Clark, Rex Preston そして紅一点の Gina Griffin。面白いのは Leon Hunt のセンス抜群の即興的なパソドゥ。これと精鋭ケルティック・サウンドとのミックスがメチャ新鮮。好きにセッションする中で、伝統歌やダンス曲を魔法のようにとびつきりフレッシュで、リジカルなアコースティック・ミュージックへと変幻させる。心々々気分爽快！加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)
- \*RURA: Break It Up a  
(スコットランドから飛び出した 2011 年の“The MG Alba Scots Trad Music Awards”授賞の若きトラッド野郎達のどでかいデビュー作だ。彼らはデビュー作にして、グエラン・スコティッシュ・バンドの風格。堂々として、気高く優艶な演唱を長々と聴かせたかと思えば、終盤、バグパイプ、ギター、フィドル、フルート、バウロン等がエレクトリックに絡み合い、舞い上がる。その、スコティッシュ・スピリット溢れるグルーブは凄い。2012 作。Greentrax)
- \*ALISTAIR OGILVY: Leaves Sae Green A  
(若き男性トラッド・シガーのデビュー作。Alistair のシンキングは、Dick Gaughan のシンキングを正調スコティッシュ・トラッド節と位置づければ、正調。スコットランドの伝統歌を中心に Andy M. Stewart や Davy Steele 等の曲を伸び伸びとシンキングする。その健やかな唄が気持ち良い。w. Steven Polwart, Aly Macrae, Inge Thompson. Produced by Mattie

Foulds.2012 作。Greentrax)

\*BRUCE MacGREGOR AND CHRISTINE HANSON

:Kissin' Is The Best Of A' B

(Brazin' Fiddles のフイドル奏者の B. MacGregor と大西洋を挟んで活動するマルチ音楽対応チェロ奏者の C. Hanson とのコラボ。Bruce のハイランド色濃厚な多彩なフイドルに Christine のチェロが深い情感を加える。演奏者の心はスコットランドで何百年も伝承されてきた音楽への深い愛情に満ちている。Tim Edey, Brian McAlpine.2011 作。Brechin All)

\*JOANNE McIVER & CHRISTOPHE SAUNIERE:The Cannie Hour A

(スコットランドのガールリック・シンガーの J. McIver とブルターニュのケルティック・ハーブ奏者の C. Sauniere のデュオアルバム。全曲、ヴォーカルの Joanne の自作曲なのだが、伝説や妖精物語やお化けの話などにインスピレーションを得たトラッド風のスコットランドのゲール語と英語混在の唄で、トラッド・シンガーとして、また魅惑の不可思議 SSW としての、両方の魅力を持ち合わせている。2011 作。Buda)

\*COAST:The Turning Stone B

(これは Wolfstone クラスのフォーク・ロック・バンド。いや Wolfstone より底力がある。むしろ Runrig に近いかも。ヴォーカルの Paul Eastham はスコティッシュ・フォーク・ロック・バンドのヴォーカルとして凄く魅力的。音ゲスト:Duncan Chisholm.2011 作。Ruabhal)

\*JIM MALCOLM:Acquaintance C

(Robert Burns 集。2007 作。Beltane)

\*EAMON DOORLEY, MUIREANN NIC AMHLAOIDH,

JULIE FOWLIS, ROSS MARTIN:Dual A

(Dochas のシンガーで屈指のガールリック・シンガーの Julie Fowlis と Danu のシンガーで屈指のゲールリック・シンガーの Muireann の、スコットランドとアイルランドの二人の歌姫の競演アルバム。2008 作。Machair)

\*BRIAN O hEADHRA:An t-Ailt B

(アイルランド・ダブリン出身で元 Anam の Brian のソロ。タイトルは「流れ」の意。現在はスコットランドのインヴァネス在住で、奥様は Mackenzie 三姉妹の Fiona。スコットランド・ゲールリックとアイルランド・ゲールリックの唄が 9 曲で英語の唄が 3 曲。深い森のふかふかした落ち葉のような唄だ。w. Fiona Mackenzie, Sandy Brechin, Chris Agnew, Richard Werner, Louisa Rafferty, Pat McGarvey.2011 作。Brechin All)

\*MATHEU WATSON:Matheu Watson C

(録音時 20 歳の天才的フイドル&ギター系楽器奏者の鮮烈なデビュー作。Matheu は 2009 年に“Best Up And Coming Musician”賞に、2010 年に彼が在籍する Fred Morrison Trio が“Best Folk Band”賞にノミネート。2010 作。SEE001)

\*URACHADH B

(北西ハイランドの人々の物語や歴史や音楽をテーマにした音楽。James Graham {ヴォーカル}, Catriona MacLeod {ヴォーカル、アコ、ホイッスル}, James Ross {ピアノ}, Carol-Anne Mackay {各種バグパイプ、ホイッスル、アコ、ヴォーカル}, Rhona Sutherland {フイドル、ギター、ブズーキ} の編成で、James と Catriona と Carol のガールリック・ソングを中心にグループとしてゆるやかな連帯感を保ち、伝統歌と伝統音楽のバランスが取れ、ハイランドのトラッド音

- 楽として味わいが深い。2010 作。Urachadh)
- \*ALEX HODGSON: Jeelie Jars 'n' Coalie Backies B  
 (A. Hodgson は大衆の人気 of SSW で、伝統歌もうたうスコティッシュ・フォーク・シンガー。その音楽は純粹にスコットランドのトラッドを志向するものではなく、大衆性のあるコンテンポラリー・フォーク。w. Kenny Hutchison, David Paton, James Mackintosh, Calais Brown, Kevin McGuire, etc. 2010 作。Greentrax)
- \*GABE McVARISH: Eclection B  
 (現在 Daimh のメンバーで、数々の著名バンドのレコーディングに参加し、現在フィドルの教師としても多忙なフィドラー、Gabe のソロスコットランドの曲を中心にアイルッシュやケープ・ブレトンの曲を古いスタイル、新しいスタイル、先鋭的なスタイル等を使い分け、緩急自在に演奏してしまう小器用さは天才的。2010 作。Greentrax)
- \*OLD BLIND DOGS: Close to The Bone (93 作。Lochshore) a
- \*IVAN DREVER: Notes From An Island C  
 (Lau の Kris Drever のお父さんで元 Wolfstone のヴォーカルの Ivan の本作は、彼自身の歴史を振り返る回顧的内容で、オーケストラへの思いや家族への思いが綴られた唄達が穏やかな風のように流れる。Ivan の歌唱は滋味豊かで、どの唄も優しさが深い。ブックレットにはビジュアル化したつつある家族写真が十数枚掲載されている。2010 作。Attic)
- \*CALUM MARTIN: An Dealachadh C  
 (Lewis 島のスコットランドのゲール語シンガーの C. Martin の本作は Runrig を想起させるスコットランドの薫り立つ潔いフォーク・ロック。これが実にかっこいいのだ。かっこいいだけではない。Isobel Ann Martin と Catherine Joan Martin の女性シンガーの唄がフィーチャーされた唄など女性ガール・ロック・シンガー特有の哀愁漂う優美な美しさを湛えていて、すっかり夢見気分。2010 作。Ridge)
- \*DAIMH: Moidart To Mabou B  
 (2000 年作の 1 枚目。ハイランド音楽をアイルッシュっぽく、例えばパブ・セッションのようなリトとあうんの息で演奏したようなスムーズな演奏がすこぶる気持ちいい。ガール・ロック・シンガー Anne Martin も素晴らしい。Produced by Ian MacDonald。2000 作。Goat Island Music)
- \*DAIMH: Crossing Point B  
 (若手屈指のガール・ロック・シンガーの Calum Alex MacMillan を迎え、ハイランドの味わいが一味加わってハイランド色濃厚かつアイルッシュやケープ・ブレトンも取り込んだエネルギッシュな音楽は完全無欠。2007 作。Greentrax)
- \*CALUM ALEX MacMILLAN: Taladh Nan Cuantan B  
 (現 Daimh のシンガー Calum の 2005 年のソロ。w. Ross Martin, Seonaidh MacMillan, Allan Henderson, Ingrid Henderson, Angus MacPhail, Ally MacKenzie。Skipinnish)
- \*SIMON BRADLEY・LUKE PLUMP: Wintering Out C  
 (アイルランド系イリス人アイルッシュ・フィドラーの S. Bradley とタスマニア島出身で Shooglenifty と Fine Friday のブラス奏者の L. Plump のアイルッシュをメインにしたアイルランド～スコットランド～アストリアスを繋ぐ心と魂が響き合う素晴らしい音楽。2004 作。Shoogle)
- \*SKIPINNISH CEILIDH HOUSE "The Scottish Music Show" C

(スコットランドのカーリー・ハウスでのライヴ。Rachel Walker {2曲}, Mary Catherine MacNeill {"Fear a' Bhata"他全4曲}, Angus MacColl, Archie MacAllister, Scot Wilson, Skipinnish, Sconaidh MacIntyre, Eilean Scalpaigh na Hearadhによる全13トラック。2009作。Skipinnish)

- \*CHRISTINE PRIMROSE・BRIAN O HEADHRA:An Turas B  
(名実共に最高のガール・リク・ソングのC. Primrose とダブリン出身でアイルランドのゲール語を学んだAnamのシンガー&ギター奏者のBrianとのスコットランドのガール・リク・ソングとアイルランドのガール・リク・ソングの謙虚でスピリットの高いトラック・アルバム。歌詞原詩&歌詞英訳付。2003作。Anam Music)
- \*KEN CAMPBELL'S IDEAL BAND:Ken Campbell's Ideal Band B  
(1980年代に活躍したフォーク・ロック・バンドのIdeal Bandの再結成アルバム。メンバーはKen Campbell {ウォーカル、12弦ギター、リュート、ノサンブリアン・パイプス}, Seylan Baxter {チェロ、ウォーカル}, Gavin Paterson {キーボード、ギター、ウォーカル}の女性一名男性二名の計三名。ゲスト:Steve Lawrence, Wendy Weatherby, Hamish Moore。2009作。Fellside)
- \*BRIAN McNEILL:The Baltic Tae Byzantium B  
(副題"Tales Of The Scots In Europe"。ご存知Battlefield Bandの創設メンバーで、マルチ演奏家で、現在RSAMDの"Scottish Music"部の学部長で、多くの若き音楽家を育てているB. McNeillのソロ。  
w. Dick Gaughan {ウォーカル、ギター}, Patsy Seddon {ウォーカル}, Sylvia Barnes {ウォーカル}, Dominique Dodge {ハーフ}, Lorne MacDougall {ハイランド・パイプス}, etc. 2009作。Greentrax)
- \*LAUREN MacCOLL:Strewn With Ribbons B  
(2004/5年の"BBC Radio2 Young Folk"賞受賞のLaurenの2枚目。滅茶苦茶素晴らしいスコティッシュ・フォーク・アルバム。選曲は1800年前後の楽譜に収録されたハイランド地方の伝統曲と伝統曲からインスパイアされて自身が作曲した曲だが、前作同様Laurenのハイランドの薫り発つ演奏の素晴らしさは巍然としていて、神がかり的。疑いなくスコティッシュ・フォーク・アルバム最高傑作。2009作。Make Believe)
- \*GEOLBEG:Cairn Water B  
(Wendy Stewart, Rod Paterson, Gary West, Peter Boond, Colin Paterson, Mike Travisから成るスーパー・スコティッシュ・グループの99年作。Wendyのレトロリック・ハーフの導入他実験的要素もある当時最前線のスコティッシュ・トラッド。今聴いても圧巻。Greentrax)
- \*RACHEL HAIR:The Lucky Smile C  
(アイルランド系スコットランド人ハーフ奏者のR. Hairの2枚目は時折ギター、ベース、ドラムス、パーカッションが入るCatriona McKay路線を目指す意欲作。Joy Dunlopなる女性シンガーがうたう2曲のガール・リク・ソングも聴き逃さない。むしろ二人、ウォーカル&ハーフのデュオで活動して欲しいと思うほどだ。2009作。March Hair)
- \*HAREM SCAREM:Storm In A Teacup C  
(Nuala Kennedyが抜け、Eilidh Shaw, Ross Martin, Sarah McFadyen, Inge Thompsonのスコットランドの名うてのトラッド・ミュージシャン4名によるHarem Scaremの2008年作。Vertical)
- \*HAREM SCAREM:Let Them Eat Fishcake C



- (Eilidh Shaw, Ross Martin, Sarah McFadyen, Inge Thompson, Nuala Kennedy の女性 4 名と男性 1 名から成る新進気鋭のスコティッシュ・バンドの 2002 作。ゲスト:Kris Drever, Vertical)
- \*FACE THE WEST:The Wishing Stone B  
(Wolfstoneタイプの Lewis 島の 4 人組スコティッシュ・フォーク・ロック・バンドの 2 枚目のよう。Keith Morrison の健やかなヴォーカルと彼らのスコティッシュ・トラッドの匂いを撒き散らす若々しいフォーク・ロックは気分爽快。めちゃGood!2008 作。West Studio)
- \*THE MARTIN GREEN MACHINE "First Sighting" B  
(Lau のアコ奏者 Martin Green のやりたい放題の実験音楽。ホーダレスな彼の音楽性からある程度想像していたが、やはりジャンル分け困難な実験的でユーモラスでお遊び感覚のクロスオーバー音楽。色彩感豊かで、遊園地音楽とでも言いたい音楽。彼はほつま遊び好きやな。子どものままの感性の音楽家。w. Inge Thomson, Barnaby Stradling, Tom Cook, etc. 2009 作。Navigator)
- \*MALINKY:Flower & Iron B  
(Malinky4 枚目は、ヴォーカル&ピアノの Fiona Hunter, ヴォーカル、ブラスーキ他の Steve Byrne, ヴォーカル&ホイッスル他の Mark Dunlop, フィドルの Mike Vaas そしてギター of Dave Wood の強力ラインナップによる三人のシングル-のシングルが光り、とびつきりのスコティッシュ・サウンドが飛び交う唄、音楽ともに、最高レベルでバランスの取れた傑作だ。2008 作。Greentrax)
- \*MALINKY:Last Leave B  
(Karine Polwart がヴォーカル。2000 作。Greentrax)
- \*MALINKY:Ravens (Karine Polwart がヴォーカル。2002 作。Greentrax) B
- \*MARK DUNLOP:Islands On The Moon B  
(アイルランドの Antrim 生まれでスコティッシュ・トラッド・バンドの Malinky のシングル-兼ホイッスル&パーカッション奏者の M. Dunlop の初音。2008 作。Greentrax)
- \*KRIS DREVER ・ JOHN McCUSKER ・ RODDY WOOMBLE  
:Before The Ruin B  
(スコットランドのトラッド・シーン最先端を走る K. Drever と J. McCusker に SSW の R. Wooble のトリオによるびしっとかっこいいフォーク・ロック。w. Heidi Talbot, Norman Blake, Michael McGoldrick, Andy Cutting, Phil Cunningham, Ian Carr, Donal Show, etc. SSWファンも是非。2008 作。Navigator)
- \*DONNIE MUNRO:An Turas B  
(スコットランド人のアメリカ移民の唄。ガールリック・ソングを含む Donnie の入魂のフォーク・ロック。Runrigファン必聴。2008 作。Greentrax)
- \*DONNIE MUNRO:Field Of The Young B  
(元 Run Rig のヴォーカルの Donnie の 2003 年のライヴ。David Paton, Chaz Steward, Dave Stewart 他のバンド編成でまるでもう一つの Run Rig 的スコティッシュ・フォーク・ロックでぐいぐい迫る。全 16 曲。スカイ島の宝。2004 作。トイツHypertension)
- \*DONNIE MUNRO:Donnie Munro A  
(スカイ島でのライヴ。Donnie の力強く美味しい唄が詰まった最高の 1 枚。SSWファンも是非！至福保証。2000 作。Vital Spark)
- \*A CELEBRATION OF THE MUSIC OF GORDON DUNCAN B

(2005年12月に急逝したパイプ・ハーの Gordon Duncan の名を冠した基金 [パイプ音楽と若手伝統音楽家支援が目的] 立ち上げコンサートのライブCD。出演者は Dougie MacLean, Kris Drever with Eamonn Coyne and Tim Edey, Duncan Chisholm, Maggie MacInnes, Session A9, Jock Duncan, Allan MacDonald Eamonn Coyne and Kris Drever, Ross Ainslie and Ali Hutton, Atholl Highlander's Pipe Band, Jarlath Henderson and Eamonn Coyne and more。CDの売上は基金に。2008作。Greentrax)

- \*EAMONN COYNE&KRIS DREVER: Honk Toot Suite a  
(ダブリン出身のダンシング・バンジョー奏者 Eamonn と Lau のメンバーでシンガーでセッション・ギターの達人 Kris によるバンジョーとギターの掛け合いをベースにしたハイレベルなコラボレーション。バンジョー音楽の多彩さとマジカな響きが自由な空気感の中で存分に発揮されている。2006作。Compass)
- \*SIMON THOUMIRE・DAVID MILLIGAN: The Big Day In A  
(コンサート・鬼才 S. Thoumire とジャズ・ピアニストの D. Milligan との即興性あるスコティッシュ・ミュージック。スコティッシュ・トラッドの土俵の中で、新種の美しい花を咲かせている。2001作。Foot Stmpin')
- \*ROBIN WILLIAMSON: The Celtic Bard C  
(彼独特なハープの弾き語りによる全18曲は、ハープの魔法的響きが最大限に生かされていて、他のハープ奏者とは一線を隠した魔法的美意識で貫かれている。2008作。スウェーデンGason)
- \*PEATBOG FAERIES: What Men Deserve To Lose C  
(Shooglenifty と肩を並べるスコティッシュ・トラッド界の豪放な異端児バンドの Peatbog の2007年作。パイプやフィドルやホイッスルはスコティッシュのメロディーを高らかにうたい、エレクトロニックは熱風で煽る。前人未踏のスコティッシュ・ロックを体現。横綱級。2007作。Peatbog)
- \*MAIRI SINE CHAIMBEUL: Thall An Loch Aillse A  
(女性スコットランドのゲール語シンガーによる名作。w. Mary Ann Kennedy, Seoras Campbell, Findlay Napier, Hamish Napier, Ali Hutton, James Graham, Gillebride MacMillan。2007作。Macmeanmna)
- \*DAVY STEELE: Chasing Shadows B  
(元 Battlefield の D. Steele の97年作。w. Sileas, Dick Gaughan, Alan Henderson, Brian McAlpine, etc. Hypertension)
- \*ALASDAIR WHITE: An Clar Geal C  
(空前絶後最高レベルのケルティック・フィドル・アルバム。踊るフィドラーとも呼びたいほど様々なタイプの民俗性ある音楽を個々のリズムを楽しむように心と体で演奏する。w. Aaron Jones, Mike Katz, Ewen McPherson, Alison Kinnaird, etc. 2006作。Temple)
- \*ROSS KENNEDY: Scottish Voice & Acoustic Guitar B  
(元 Tannahill Weavers で Iron Horse の創設メンバーで屈指のスコティッシュ・ギター奏者でトラッド・シンガーの R. Kennedy の本作はスコティッシュの高貴さと芳香に充ちた渾身の力。2007作。Greentrax)
- \*ALEX CAMPBELL, ALAN ROBERTS, DOUGIE MacLEAN: CRM B  
(Dougie MacLean ファンの宝物。1979年作。Osmosys)
- \*ORKNEY FOLK "Traditional Music From The Islands" C  
(Orkney Folk Festival 25周年記念に制作された記念盤。全19ミュージック)

- シャンクフルフによる全19曲。Wrigley Sisters, Rory McLeod&Aimee Leonard, Ivan Drever, etc. 2007作。Orkney Folk Festival)
- \*THE ORKNEY SESSIONS FROM THE AYRE HOTEL A  
(全17トラック。95作。Attic)
- \*HARP HOUSE B  
(Edinburgh Harp Festivalからのライヴ。スコットランドのハープ奏者中心の名演奏集。収録順に ParkStickney&Rudiger Oppermann, Kike Pederson, Crasdant, Karen Marshalsay, Nuria Llopis Areny, Isobel Mieras, Graíne Hambly, Ann&Charlie Heymann, Calluna, Cliar, Catriona McKay&Simon Nieminski. 2005作。HarpHouse)
- \*GORDON PATTULLO: Fair Play C  
(70年代から活躍するアコーディオン奏者。ダンス曲オンパレード。91作。Lapwing)
- \*JAMES ALEXANDER: The Speyside Fiddler C  
(Fochabers Fiddlersのリダーでフィドルの J. Alexander のソロ。スコティッシュ・フィドルの香り高い純正スコティッシュ・フィドル・アルバム。純粋に土の香りするスコティッシュ・フィドルの味わいを味わいたい方への推薦盤。2005作。CD-R。Ross)
- \*KAREN MATHESON: Downriver C  
(w. Donal Lunny, James Grant, Donald Shaw, James Mackintosh, Ewen Vernal. 2005作。Vertical)
- \*SHONA MOONEY: Heartsense A  
(2006年BBC ScotlandのYoung Traditional Musician賞優勝の女性スコティッシュ・フィドル奏者のデビュー作。w. Ian Stephenson, David de la Haye, James MacKintosh, Ali Vase. 2006作。Foot Stompin')
- \*SANDY MELDRUM: Scottish Piano Fusion B  
(RSAMDの卒業生で天才的ピアノ&アコーディオン奏者のデビュー作。スコティッシュの名手達とアカパティックなセッションを繰り広げる一方でスローな曲でのピアノソロのセンスの良いしんみりとした泣き節も見事でまさに両刀使い。2006作。Greentrax)
- \*DICK GAUGHAN: Redwood Cathedral (98作。Greentrax) B
- \*KATHRYN TICKELL+CORRINA HEWAT: The Sky Didn't Fall C  
(ノースバリアン・スモール・イブ&フィドルの K. Tickell と先進的スコティッシュ・ハープの Corrina のデュエットはスコットランドとノースバリアントの伝統回帰かつ女性的優美さに包まれた音楽。二人は思い出の曲や馴染み深い曲を慈しむように演奏し、唄う。2006作。Park)
- \*JAMES ROSS: James Ross B  
(スコットランドの若手トラッド音楽家の優良養成学校RSAMD卒業でその後アイルランドのリムリック大学でピアノを学んだという James のスコットランド音楽と少しのアイルランド音楽のリズムとメロディーを自由に操り、お遊び感覚と夢想感覚を織り交ぜた水玉のように軽やかに弾む自由なピアノの音楽。Produced by Brian McNeil. 2006作。Greentrax)
- \*JIMMY HUTCHISON: Corachree B  
(“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2000作。Traditional Beares)
- \*ALISON McMORLAND: Cloudberry Day B  
(“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2000作。Traditional Beares)
- \*ELLEN MITCHELL: On Yonder Lea B

- (“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2002 作。Traditional Beares)
- \*EILIDI MacKENZIE:Eideadh Na Sgeulachd(92 作。Temple) B
  - \*CHRISTINE PRIMROSE:Gun Sireadh, Gun Iarraidh B  
(2001 作。Temple)
  - \*CLIAR:Grinn Grinn B  
(ガ-リック・シンガ-の親分 Arthur Cormack がリ-ダ-のガ-リック・シンギ-ング・グループの Cliar の 2005 作。Macmeanmna)
  - \*ARTHUR CORMACK:Ruith Na Gaoith(89 作。Temple) B
  - \*ARTHUR CORMACK:Nuair Bha Mi Og(92 作。Temple) B
  - \*STEVIE LAWRENCE:Standing Alone A  
(Iron Horse のギター奏者のソロ。2002 作。Lochsore)
  - \*SILEAS:Harpbreakers B  
(本作は日本で録音され、キングより 1990 年に発売された後にスコットランドで発売された Sileas の 3 枚目。「かもめの水兵さん」の原曲収録。90 作。Lapwing)
  - \*WENDY STEWART:Standing Wave(2003 作。Greentrax) A
  - \*ALEX CAMPBELL:In Copenhagen B  
(65 年録音。65/2002 作。Storyville)
  - \*EWAN MacCOLL:Solo Flight72/2000 作。Topic) A
  - \*BELLE STEWART:Queen Among The Heather A  
(副題“Scots Traditional Songs And Ballads”。76 年録音。77/98 作。Greentrax)
  - \*BILLY CONNOLLY’S MUSICAL TOUR OF NEW ZEALAND ¥1500  
(SSW の B. Connolly のソロと想像しがちだが、実質的には Kate Rusby 作“Wandering Soul” [Kate がヴォーカル担当] 以外の作曲を手がけた John McCusker のソロ的色彩が濃いスコティッシュなトラッド・アルバム。演奏仲間はいつもの Andy Cutting, Ian Garr, Michael McGoldrick, Ewen Vernal, Andy Seward, Kris Drever に John Doyle, Phil Cunningham, James Mackintosh, Eddi Reader という揺ぎ無い顔ぶれ。全 17 曲。2004 作。Pure)
  - \*FIONA KENNEDY:Maiden Heaven~Special Edition A  
(元祖ケルティック・エンジェル・ヴォイスによる夢見心地スコティッシュ・トラッド。“Follow Me”のボーナス・トラック付。2004 作。Pixie)
  - \*IAIN MACKINNON:Best Seat In The House AD  
(Lewis 島出身と思われる SSW の美しきフォーク・ロック。全曲本人又は Mike Merritt のナムバ-だが、立ち昇る音楽性は Runrig 又は Donnie Munro に通じるもの。この Runrig 風なガッツある潔いそれでいてスコットランド独特な愁いのある伸びやかな Iain のヴォーカルとフォーク・ロックは気持ちいいもの。2003 作。Croft)
  - \*SCOTTISH WOMEN A  
(2002 年に行われた“Scottish Women”ツアーのライブ音源をツアーの音楽ディレクターを務めた Brian McNeil が編集したもの。シンガ-は Margaret Bennett, Elspeth Cowie, Ray Fisher, Annie Grace, Corrina Hewat, Mackenzie, Ishbel MacAskill, Mairi MacInnes, Maggie MacInnes, Anna Murray, Karine Polwart, Sheila Stewart, Sheena Wellington。全 16トラック。2004 作。Greentrax)

- \*CATHERINE-ANN MacPHEE:Canan Nan Gaidheal A  
(女性が-リック・ソングの傑作。93作。Greentrax)
- \*SINGING IN THE STREET A  
(副題“Scottish Children’s Songs”。Alan Lomax 他が1951~57年の間にフィールド・レコーディングした56曲。デジタル・リマスター。2004作。Rounder)
- \*LASAIR DHE “Flame Of God” B  
(が-リック語賛美歌をベースにしたが-リック・ヴォーカル・アルバム。コンサート・ライヴ盤。Ciar [Arthur Cormack, Mary Ann Kennedy, Ingrid Henderson, Maggie Macdonald, Bruce MacGregor, Chaz Stewart。唄も演奏も清々しい！]を中心に Kenna Campbell, Donnie Murdo のが-リック・シンガ-のソロそれにが-リック合唱団による聖なる歌声。より人々の祈りの唄に近い賛美歌集。時折日本のご詠歌風。2001作。Macmeanma)
- \*WILLIAM JACKSON:Duan Albanach B  
(Ossian のリダ-でスコティッシュ・ハープの真髄を追求する屈指のハープ奏者 William [Billy] Jackson の New は前半が自身のハープとティン・ホイッスルの演奏集で後半は2002年の Celtic Connections のライヴ。2003作。Mill)
- \*WILLIAM JACKSON:Celtic Chillout A  
(とりわけケルティックな優美さに充ちたハープ曲を選び抜いた15曲入編集CD。ケルティックな夢心地。2002作。EMI)
- \*ANGUS LYON&RUARIDH CAMPBELL:Simple Tricks B  
(共にチャンピオン奏者 [Angus はアコとピアノ、Ruaridh はフィドルとヴァイオリン] によるスコティッシュ味覚の憎い憎いデュエットで唸らせ、歓ばせる。古いスコティッシュの香りをキープしつつも演奏には若さと勢いがある。老若共に楽しめる見事なデュエットだ。w. Steve Lawrence, Duncan Lyall, Alan Train, etc. 2003作。Lochshore)
- \*ISHBEL MacASKILL:Essentially Ishbel B  
(Lewis 島出身のヴァレラン・が-リック・シンガ-の Ishbel の4枚目は深くスコットランドの伝承歌に根ざした豊かで美しいが-リック・ソング集。歌詞原詩&歌詞英訳付。2000作。Ishbel MacAskill)
- \*SHOORMAL:Migrant B  
(Joyce McDill, Freda Leask, Donna Smith それぞれのシンガ-のヴォーカルがフィーチャーされたシエラントのフォーク・グループ。2003作。Greentrax)
- \*THE LAGGAN:I Am The Common Man B  
(ヴァレラン・トラッド・シンガ-の Arthur Johnstone がヴォーカルの4人組。歌に真っ直ぐなフォーク・トラッド。2002作。Lochshore)
- \*LET SCOTLAND FLOURISH A  
(Foot Stompin’ 所属アーティストの編集CD。全14曲。Cantrip, Liz Doherty, Corrina Hewat...。2003作。Foot Stompin’)
- \*ANDY M. STEWART:Songs Of Robert Burns (89作。Wundertute) B
- \*ANDY M. STEWART-MANUS LUNNY:Dublin Lady a  
(87作。Green Linnet)
- \*DOMHNALL R MACASGAILL:Gloir An Uain C  
(CD-R。副題“Traditional Gaelic Hymns&Psalms”。が-リックによるほぼ無伴奏の祈りの唄。朗々とした唄声は澄んだ空気をも震わす。2曲の合唱はご詠歌を思い出した...。2001作。Beracah)
- \*THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS VOL. 7 (99作。Linn) B

- \*THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS VOL. 8(99 作。Linn) B
- \*JANET RUSSELL&CHRISTINE KYDD:Dancin' Chantin' B  
(名盤。94 作。Greentrax)
- \*JIM REID:The Better O' A Sang B  
(元 Foundry Bar Band でウエラン・トラッド・シンガー、J. Reid のトラッドを中心にした琴線に触れるスコティッシュ・ソング集。全 19 曲。w. Stuart Duncan, Scott Carnegie。96 作。Greylag Music)
- \*JIM REID:Emfae Dundee B  
(ギター、バンジョー、コンサーティーナ、エレクトロニック・パイプ等全て J. Reid の演奏で、ダンディーの町ことを唄ったもの。朗々とある時はコミカルに…。Jim のワマン・バンド“The Tha' Ui Dae Ceilidh Band”が大活躍。2001 作。Greylag Music)
- \*JENNIFER&HAZEL WRIGLEY:Dancing Fingers A  
(オークニー島の Jennifer&Hazel 姉妹のこれが 1 枚目。91 作。Attic)
- \*JENNIFER&HAZEL WRIGLEY:The Watch Stone(2 枚目。Attic) A
- \*BIRLIN' FIDDLES B  
(メンバーは Jennifer Wrigley, Alan Henderson, Julia Legge, Sandy Wright。Foot Stompin')
- \*THE ORKNEY SESSIONS A  
(“From the Ayre Hotel”。毎年 5 月下旬に開かれている「オークニー・フォークフェス」のメイン会場になる Ayre Hotel。その村に集うトラッド・ミュージシャン達によるセッション・ライヴ。全 40 曲。アリッシュ・パブならぬオークニー・パブの熱気。95 作。Attic)
- \*THE EASY CLUB:Chance Or Design B  
(85 年作の 2 枚目。オランダ Frea)
- \*BOGHALL&BATHGATE CALEDONIA PIPE BAND  
: Inspired In Belfast(2001 作。Monach) A
- \*ALBERTA CALEDONIA PIPE BAND:They Took Their Leave A  
(2001 作。Monach)
- \*FRED MORRISON:The Sound Of The Sun(Lochshore) A
- \*THE GAUGERS:No More Forever C  
(ヴェテラン・トラッド・バンド“Gaugers”の 4 枚目。ライヴ等彼ら録音曲の中でも選りすぐりの録音曲を編集し、故 Peter Hall に捧げたアルバム。2000 作。Sleepytown)
- \*ANNE MARTIN:Co. . ? A  
(副題“Gaelic Song from the Isle of Skye”。人気盤。w. Fiona MacKenzie, Sandra MacKay, Iain MacDonald, Malcolm Jones, Ingrid Henderson, Iain MacFarlane, etc. 98 作。Whitewave)
- \*ELSPETH COWIE:Naked Voice A  
(Chantan, Seannachie のヴォーカルで“Complete Robert Burns”でもお馴染みのトラッド・シンガーの正にタイトル通りの化粧なしのトラッド集{1 曲 S. Denny 作“Fotheringay”を含む}。歌詞&解説付。Scotfolk)
- \*WORLD LIBRARY OF FOLK&PRIMITIVE MUSIC “Scotland” B  
(Compiled&Edited by Alan Lomax。98 作。Rounder)
- \*SHEILA STEWART:From The Heart Of The Tradition A  
(スコットランドの偉大なトラヴェリング・シンガー故 Bella Stewart の娘 Sheila

{1937 年生まれ}のハリのある孤高のソング。全曲無伴奏。“Queen among the Heather”, “Blackwaterside”, “Glencoe”, “The Nobleman’s Wedding”等トラッドの重要曲全 20 曲。詳細解説付。2000 作。Topic)

- \*ANNA MURRAY: Out Of The Blue (94 作。Lochshore) A
- \*ANNA MURRAY: Into Indigo (96 作。Lochshore) A
- \*ANNA MURRAY: Tri Nithlean (99 作。Lochshore) A
- \*CALANAIS ¥1680  
(リス島の古代巨石保存を目的に制作された編集 CD。Sileas, Dougie Maclean, Phil Cunningham, Anna Murray, Blair Douglas, Martin Taylor, Mary Smith, Ian Stephen, etc. 95 作。An Lannatair)
- \*ROBIN LAING: Imaginary Lines A  
(エディンバラ出身のフォークソング - R. Laing の 4th。w. Ammy Geddes, Brian McAlpine, Wendy Wethery, etc. 99 作。Greentrax)
- \*JEAN REDPATH: Think Of Me A  
(心の奥底にまで響くスコティッシュ・ソング 集だ。w. Sue Richards [ハーフ]、Abby Newton [チェロ]、Jay Unger [フィドル]、Jacqueline Schwab [ピアノ]。全 16 曲。歌詞&曲目解説付。98 作。Jean Redpath)
- \*ROBIN WILLIAMSON: Ring Dance A  
(Incredible ファン好みの会心の作。98 作。Pig’s Whisker)
- \*ROBIN WILLIAMSON: Memories (7 曲入。97 作。Pig’s Whisker) ¥525
- \*DANNY KYLE: Heroes And Soft Targets A  
(人間味漂う中年フォークソング -。ギター&パンジョーの弾き語りでも和りとさせる。SSW 調からトラッド 調まで、マイペースで気持ちいい。98 作。Iona)
- \*GEOL NA PIOBA-PIOB MHOR B  
(副題“A Concert of Piobaireachd from the 1999 Edinburgh International Festival”。2000 作。Greentrax)
- \*THE WORLD PIPE BAND CHAMPIONSHIPS VOLUME 1 1998 A  
(Nonarch)
- \*THE WORLD PIPE BAND CHAMPIONSHIPS VOLUME 2 1998 A  
(Nonarch)
- \*SOUTHERN GAEL “Dalewood Auckland&District Pipe Band” A  
(ニューゼーランドのパイプ・バンド・チャンピオン。Nonarch)
- \*WOLFSTONE: Wolfstone (1994 作。Celtic Music) D
- \*NORTHERN LIGHTS “Live From The Lemon Tree” A  
(Old Blind Dog, Tony McManus, Tannas, Anna Murray, Iron Horse, Drop The Box, Conterach, Lorelei によるライブ。1996 作。Lochshore)

**[CD/USA {トラッド、ファン他}]**

- \*GOLDEN BOUGH: Celtic Festival A  
(今年。結成 37 年目のケルティック・グループの Golden Bough の新作。現在のメンバーは Margie Butler {ヴォーカル、ハーフ、ペニーホイッスル、ハクロン他}、Kathy Sierra {ヴォーカル、ヴァイオリン}、Paul Espinoza {ヴォーカル、ギター、マンドリン、アコ他}。ケルト音楽がまだ一般的ではない時代からまっすぐにケルト音楽をレパートリーにし、米国でのケルト音楽の普及と発展に尽くした彼らの役割は計り知れない。ケルト各地

の音楽に絞って制作された本作は、初心回帰的な初々しさと、彼ら積み上げてきた Golden Bough 流ケルト音楽とがうまくブレンドされた温厚で柔和で、若草の香りのするケルト音楽。これまでのアルバムの中でも、最も活気が感じられる一枚。Golden Bough は不滅。2016 作。ARC Music)

\*BEVERLY SMITH & JOHN GRIMM: Sake Of Days Gone By A  
(Mick Moloney や John Doyle などのようなアイリッシュ・ミュージシャンとのレコーディングもあるオールド・タイム・ミュージックのヴェテラン・シンガーで、フィドル弾きでギター奏者の B. Smith とオールド・タイム・ミュージック界の名フィドラーでマルチ楽器奏者の J. Smith との徹底してオールド・タイム志向の演唱。フィドル、ギター、バンジョー、マンドリンの様々な組み合わせによる演奏は、まるで妙技のように楽しく、Beverly のシンギングと二人のヴォーカル・ハーモニーはいにしえのアパラチアへと誘う。白人系米国音楽のルーツの香りふんだん。2016 作。Beverly Smith and John Grimm)

\*MR. MARTIN SIMPSON & MR. DOM FLEMONS  
: A Selection Of Ever Popular Favourites B  
(2015 年の秋に Martin Simpson と Carolina Chocolate Drops の創設メンバーでアメリカン・ソングスターの Dom Flemons がデュオを組んで、コンサートを行ったときのライヴ。曲目は米国の白人黒人の枠を超えた古き良き音楽。Martin ファンが聴けば、Martin の米国趣味の音楽に大衆性が増したように聞こえて、面白いだろうし、Dom Flemons のファンが聴けば、米国庶民の古き良き娯楽音楽に品性が備わったように感じられて、新鮮な印象を持つだろう。米英の個性派が混ざり合っ、ある種異種交配的な面白さもある米国の古き大衆音楽の世界だ。2016 作。Fledg'ling)

\*DANA LYN & KYLE SANNA: The Great Arc A  
(Dana Lyn {フィドル、ヴァイオリン} と Kyle Sanna {ギター} のアイルランド系ではない二人の才能ある演奏家兼作曲家による耳に新鮮なアイリッシュ。二人が共演した演奏家は Martin Hayes & Dennis Cahill, Cillian Vallely, Kevin Burke, Susan McKeown。彼らのアイリッシュのベースになる音楽は、Martin Hayes & Dennis Cahill。Dana は Martin Hayes スタイルのフィドルを感性優先で膨らませ、Kyle はアイリッシュにとらわれない独自のギター演奏で飾る。Dana&Kyle の Martin&Dennis+α の独創性を加えたアイリッシュ風音楽もすこぶる魅力的。ゲスト: Mick McAuley。米国盤だが、ラップ包装無し。2015 作。Dana Lyn&Kyle Sanna)

\*OLD SALT: Up River Overseas A  
(Old Salt は米国人一名、スコットランド人一名、ベルギー人三名、スウェーデン人一名で二姫四太郎の六人組。核になる音楽は米国人シンガーでバンジョーとフィドル担当の Dan Wall の音楽性、それはアパラチアン音楽とオールドタイム・ミュージック。Dan Wall 自身がその系統のシンガーとして、ミュージシャンとして秀でた才能の持ち主で、他国の音楽仲間の手を借りて、その系統の音楽の最前線のハイブリッドな音楽を創作していて、お見事。加



えて、ヨーロッパの古風なジブシー音楽のサウンドもご披露。

2016 作。Appel)

\*THE LASSES: Daughter

A

(オランダの女性フォーク・デュオだが、便宜上ここで。二人ともヴォーカル&ギターの Margot Limburg&Sophie ter Schure の二人がうたうのは、米国、イングランド、スコットランド、アイルランドの伝統歌と Kate Rusby や Richard Thompson 等のフォーク系シンガーの作曲曲。計 13 曲。ユニークなのは、二人のフォークは米国トラッド/フォークっぽいこと。アパラチア民謡風というか、ある種米国フォークの原点的な滋味豊かなフォークの味わいは格別。

2015 作。The Lasses)

\*LINDSAY STRAW: My Mind From Love Being Free

A

(ボストンのアイリッシュ・バンドの Ivy Leaf のメンバーで、シンガーでギター&ブズーキ奏者の Lindsay Straw 嬢のソロ。本作はこの約 10 年の間に彼女が熱中して来た英国とアイルランドの伝統歌をギターやブズーキの弾き語りでうたったもので、ブリティッシュ・フォーク風の芳香と清涼さ放つサウンドを伴って、彼女の朝露のように清々しく、まっすぐな唄たちは、心の中にすっとしみ通る。まるで、彼女が初めて伝統歌と出逢ったときの初々しい感動が、そのまま表現されたかのように、一曲一曲が芯が強く、清く、美しい。CD 収納型紙ジャケット 2015 作。Lindsay Straw)

\*GALLOWGLASSES: Mortar Bricks And Lime

A

(二枚目が人気の米国サンフランシスコの四人組ケルティック・トラッド・バンド "Gallowglasses" の一枚目。メンバーは、Lee White {ヴォーカル、フィドル}、Donovan Ryan {ヴォーカル、ギター}、Michael McNelly {ブズーキ、マンドリン}、そして Molly's Revenge の Mark Boronkay {ギター、マンドリン}。こちら一枚目は Donovan Ryan with Gallowglasses 的内容で、ヴォーカルの Donovan の音楽性、それは Andy Irvine の音楽性と重なり合う。ブズーキをフィーチャーしたサウンドといい、Andy 風のシンギングといい、アイリッシュとフォークの両要素をバランスよくブレンドされていて、円やかで落ち着いた味わいのアイリッシュ風トラッド/フォークを醸成している。最後の "Paddy's Green Shamrock Shore" は Paul Brady 風ですがね。CD 収納型簡易紙ジャケット。2013 作。Gallowglasses)

\*MOLLY'S REVENGE: The Western Shore

a

(John Doyle がプロデュースの本格的ケルティック・ミュージック・アルバム。アンサンブルの醍醐味と味わいはアイルランドやスコットランドのトップ・バンドの風格。ダンス曲を中心とした演奏のみならず、2 曲でヴォーカルを取る Moira Smiley のしっとりとして凜としたシンギングが素晴らしい。Paul Brady の名唱でお馴染みの "I Am A Youth Included To Ramble" はトラッド・ファンを骨抜きにする。北米に凄いバンド。2008 作。Molri Music)

\*ALICE GERRARD: Bittersweet

A

(かれこれ 40 年以上にわたって、アメリカン・ルーツ音楽の第一線で活動してきた Alice の 10 年ぶりの本作は、全曲自作作曲の深い味わいのある素晴らしい SSW/フォーク・アルバム。体の中から湧き上がるようなリラックスした唄は、いぶし銀のアメリカン・ルーツ・サウンドを伴って、ある時は心に沁み、またある時は心を和らげ、またある時は心をほがらかにさせる。いぶ

し銀のアメリカン・ルーツ音楽の名品だ。w. Laurie Lewis, Stuart Duncan, Bob Ickes, Bryan Sutton, Todd Phillips, Tom Rozum, etc. 2013 作。Sprouce And Maple Music)

- \*SARA GREY:Down In Old Dolores A  
(一曲目の“Bright Sunny South”米国古謡の世界にどっぷり。ハンジューを弾きながらうたう、この素朴な古謡が何とも渋くて良い味わいなのだ。Sara が長年米国の古謡を収集し続けて生まれた素晴らしい米国古謡の世界。w. Kieron Means [ギター、ウオーカル], Ben Paley [フィドル]。曲目解説付。全 15 曲。2014 作。Fellside)
- \*MINNIE & THE ILLYWHACKERS:Make Me Yours A  
(アイルランドからご機嫌なオールド・アメリカン・ミュージック “ショー” バンドが登場。ユニークなのはウクレレがフィーチャーされていて、古臭いジューズ等でスウィングしていること。ウクレレが音頭を取る中、古っぽいジューズやカントリーやブルースやポピュラー・ミュージック等がほどよく混ざり合った文字通りのグッドタイム・ミュージック。サウンドのすべてがリズムが楽しく躍るように心地よい。古っぽい音楽の心地よさも最高だが、シンガーの Minnie の唄はセピア色の古色を帯びつつも、風に乗るような軽やかな歌声でうっとり。2013 作。Rualla)
- \*WILLIAM PINT & FELICIA DALE:Blue Divide A  
(Whiskey Is The Life Of Man”で華々しく幕開けする W. Pint [ウオーカル、ギター、マンドリン] & F. Dale [ウオーカル、ハーモニカ、フィドル、ホイッスル] の新譜は、海的生活と海の唄を愛する二人の気持ちが上気した唄と、そんな唄と一体化したケルティック・ロックにばっちり生き写しされている。この喜びに満ちた唄と音楽はもう滅茶苦茶最高。William のウオーカルなんぞは、舌がもつれるのでは？と心配になるほど、うたいまくっている。音楽もノリがよくって、踊りだしたくなくなってしまうほど。海好きの音楽ファンのみならず、全トラッド・ファンは上昇気流を巻き起こす重層的ケルティック・サウンドに血わき肉おどるに違いない。夏はこれを浴びて、海水浴気分！2013 作。Waterbug)
- \*PATRICK BALL:The Wood Of Morois B  
(P. Ball が爪弾く金属弦ハープによるほぼ「ケルト」回帰の本作は、音色の一音一音が細やかで美しく、それぞれの地域の音楽の特性を擁護しつつ、優麗な音色で奏でたこの上なく美しいケルティック・ハープ・ミュージックアルバムとして結実している。2010 作。Celestial Harmony)
- \*HANNEKE CASSEL:For Reasons Unseen A  
(ボストン生まれの米国スコティッシュ・フィドル・チャンピオンでアイリッシュ・グループの Cathie Ryan Band でも活動するスコティッシュ・フィドル+アイリッシュ・フィドル+オリジナリティーで一步先を行く美人フィドラーの華のあるケルティック・フィドル・ミュージック。w. Alasdair Fraser, Natalie Haas, Rushad Eggleston, Casey Driessen, Brittany Haas, Keith Murphy, Aoife O' Donovan。2009 作。Hanneke Cassel)
- \*EUROPEAN WORLD OF BLUEGRASS 2006 A  
(ヨーロッパと北米のブルーグラス・グループの編集盤。全 25 曲。2006 作。オランダ Strictly Country)
- \*ROBIN & LINDA WILLIAMS:Live In Holland A  
(92 作。オランダ Strictly Country)

- \*SKYLAND: Moon Over The Water (2003 作。オランダ Strictly Country)
- \*CONNIE DOVER: The Border Of Heaven (2000 作。Taylor Park) A
- \*RACHEL HARRINGTON: The Bootlegger's Daughter A  
(2008 年作の "City Of Refuge" が好評の Rachel の 2007 年作のデビュー作。Rachel は不思議な物語や彼女が住むオゾン周辺の田舎生活を送る彼女の個人的な唄などを古い伝承歌を口づさむように淡々と唄う。音楽性は様々だが、自身の足場に立脚し、時代を縦に眺めた田舎娘らしい天真爛漫な音楽が楽しい。2007 作。Skinnydennis)
- \*KELLY CARMICHAEL: Queen Fareena A  
(古き良きアメリカン・ミュージックの世界へと誘うくすぐったいほど馬鹿馬鹿しく愉快的な音楽。ハンゾーやギターを爪弾きうたう Kelly の頭の中はフォークや古いデルタ・ブルースやストリング・バンドのブルースやデイクシー等が鳴り響いているに違いない。まるで 18 世紀か 19 世紀のミシシッピ川を遊覧する豪華客船の娯楽バンド。古き良きアメリカン・ミュージックの最高 "お笑い" 傑作。2008 作。Dogstreet)
- \*TODD MENTON: Where Will You Land a  
(元 Boiled In Lead の T. Menton の 2003 年作。アメリカン・フォークであろうが、ブリティッシュ・トラッドであろうが、アイルッシュであろうが、シー・ジャンプであろうが、向かう姿勢が根源的。アパラチアの山奥に引き込んだと思いきや今度はパワフルなフォーク・ロックで歓喜させる。2003 作。New Folk)
- \*LEHTO & WRIGHT: The Thrashing Machine a  
(Lehto&Wright の二人組。アコースティックとエレクトリックが混在しているが、沸き上がる香りはヴォーカルを含めて気高いブリティッシュ・トラッド。Richard Thompson や Dick Gaughan や Christy Moore のハートリーやトラッドを毅然とカッコ良く演唱する。Lehto はエレキ・ギターもカッコイイがアコースティック・ギターも素晴らしい。完璧に二人の想い入れの強い憧れのブリティッシュ・トラッド的美意識で律せられている。2007 作? New Folk)
- \*LAURA MacKENZIE: Evidence A  
(アイルッシュ・フォークを中心に各種バグパイプを演奏し、ゲリラックを含む唄もうたう Laura の本作はアイルッシュを中心にスコティッシュそしてブルターニュ等カルト圏の唄と音楽を共演者をとっかえひっかえ演唱する。共演者は Altan の Daithi Sproule {ギター、ヴォーカル}, Dean Magraw {ギター}, Andrea Stern {ハープ}, Dick Ree {アコ}, John Wright {ベース}, Sean Egan {クラリネット}。2003 作。New Folk)
- \*GOLDEN BOUGH: Far From Home (Golden Bough Music) A
- \*GOLDEN BOUGH: Live B  
(25 周年記念ライブ。全 14 トラック。2006 作。ARC Music)
- \*JODY MARSHALL: Cottage In The Glen A  
(Magical Strings のような身を清められるようなケルティック・アンサンブルからダイミク的なケルティック・アンサンブル。Jody の H. ダルスマーはうたいおどる。共演者は Grace Griffith, Amy White, Al Petteway, Karen Ashbrook, Zan MacLeod, etc. 2007 作。Maggie's Music)
- \*JEAN RITCHIE: Field Trip A  
(1954 年作の再発 CD。全 21 曲。54/2001 作。Greenhays)
- \*SYLVIA HEROLD&EUPHONIA: Lovely Nancy A  
(Wake The Dead のヴォーカルでウエラン・トラッド・シンガーの 3 枚目。Euphonia

のメンバー3人の内二人は Wake The Dead のメンバーで Wake のホースの Danny Carnahan も数曲でデュエットでお手伝い Sylvia の姿勢はよりシガーとして伝承歌の本質に迫る真摯なもので一曲一曲が心に迫るもの。  
2005 作。S. Herold)

\*MAGICAL STRINGS: Where Dragons Dance ¥500  
(結成 25 周年の Magical Strings の本作は彼等の集大成的であると同時に新たな地平を予感させる音楽。Grainne Hambly や Liam O'Flynn や Mary Bergin 等のアイルッシュ・ダンス曲やブラスケット島のアイルッシュ・エア等アイルッシュをベースにしたガスコルのヴァリをフィーチャーした異国情緒な音楽に加え、中国風味のタイトル曲とモンゴルの曲"Gandii Mod"等も。CD-ROM 機能では"25 Years of Family, Friends, Loving&Sharing"と題が付され、アイルランドの島でのスナップ写真を中心に故 Derek Bell との写真や家族の写真が閲覧できる。2004 作。Alula)

\*MAGICAL STRINGS: Legend Of Inishcahey A  
(西アイルランドの音楽にインスピレーションを得た Magical 独特なケルティック・ミュージックの世界。99 作。Magic Hill Music)

\*KEN KOLODNER: Journey To The Heartland A  
(ヴァレラン・ハンマー・ダルマー奏者によるアパラチア&オールタイムからケック&ケー・ブルトンそしてスコットランドまで姉妹音楽の旅。自分のルーツの視点から姉妹音楽に全身全霊でアプローチしてるのが偉い。w. Robin Bullock, Laura Risk, Elke Baker, Paddy League。2005 作。Maggie's Music)

\*DEBRA COWAN: The Long Grey Line B  
(彼女のシンギングは Ray Fisher, Gordeanna McCulloch, Christine Kydd 仕込み。主にイングランド、スコットランド、アイルランドのトラッドを澄んだ美声と情緒あるアコースティック・サウンドで酔わせる。2001 作。Debra Cowan)

\*BOILED IN LEAD: Alloy ¥2980  
(希少録音曲を含む Boiled In Lead の 15 年の歴史をまとめた 1000 枚限定ハード・ボックス入 3 枚組 CD。内 1 枚はライヴ。全 48 曲。ボックスに 1000 枚の内の何枚目かの番号が打たれている。98 作。Omnium)

### [DVD/CANADA] NTSC all regions

※国内製 DVD プレーヤーで再生可能

\*ASHLEY MacISAAC: Live At The Rehearsal Hall B  
(Ashley MacIsaac&band によるスタジオ・ライヴ。ロック・バンドを従えての血沸き肉おどるライヴ。圧巻。2002 年 5 月収録。57 分。Linus)

### (CD+DVD/CANADA {Celtic}) PAL all regions

\*LOREENA McKENNITT: Nights From The Alhambra ¥2980  
(2006 年 9 月スペインのアルハンブラの宮殿でのライヴ。2 枚組 CD と 1 DVD のセット。CD は DVD のオーディオ版。全 18 トラックで DVD は 140 分。w. Nigel Eaton, Brian Hughes, Steafan Hanningan, Hugh Marsh, Panos Dimtrakopoulos, Sokratis Sinopoulos, Haig Yarzdzian, etc. 2007 作。Quinlan Road)

### [CD/CANADA {トラッド他}]

\*FASTA: Un Canadien Errant B

(カナダの“Traditional Singer of the Year”賞受賞のケベックの女性トラッド・シンガーでフィドラーの Sophie Lavoie とケベックのギタリストの André Marchand とコネマラ出身のアイルランド人イリアン・パイプス & バンジョー奏者の Fiachra O' Regan のトリオ。ケベックのトラッドとアイリッシュが混ざり合った音楽の意外に新鮮で爽快なこと！ Sophie のシンギングとフィドルはケベック・トラッドの伝統の味わいを披露しつつも、音楽はアイリッシュのノリを混ぜ合わせていて、例えば、100 年、200 年前、カナダに移り住んだフランス & アイルランド移民が互いの音楽を持ち寄って、楽しんで創り上げた音楽のような、凄く魅力的で心に響いて、楽しめる音楽。Sophie さん、大好きな“Un Canadien Errant”をうたってくれてありがとう！2016 作。Fasta)

\*NATALIE MacMASTER AND DONNELL LEAHY

: A Celtic Family Christmas B

(ケープブレトン屈指のフィドラーの N. MacMaster と Leahy のメンバーでケルティック・フィドラーの D. Leahy のご夫妻によるゴージャスなケルティック風クリスマス・アルバム。ご二人のケルト色濃厚なフィドルの妖艶さの上に、バンド編成の音楽はケルティック、カントリー、ロック、ジャズなど混在感があって、大盛り感たっぷり。旨みもたっぷり。しかしやはり、Natalie の年季の入った、ぶっといケープブレトン・スタイルのフィドルは圧巻で、音楽の大黒柱になっている。ジャンルを超えて Great! w. Tim Edey, Pat Kilbride, Matt MacIsaac 他。2016 作。Linus)

\*TICKLE HARBOUR: Battery Included A

(Tickle Harbour の創設者は Red Island の創設者でギタリストの Don Walsh で、Tickle Harbour でヴォーカル、ギター、バウロン、コンサティーナ他を担当する Fergus O' Byrne は元 Ryan's Fancy。二人を除いた他のメンバーは Vonnie Barron (ヴォーカル)、Patrick Moran (フィドル)、Gerry Strong (ティン・ホイッスル、フルト)、Francesca Swann (チェロ)。驚くのは曲の多数を占める各種ダンス曲の演奏の素晴らしさだ。Chieftainスタイルだが、演奏力が卓越している上に、音楽のエネルギーはパブ・セッションのセッションの高さをキープしている。ゲスト: Seamus Creagh, Paddy Keenan 他。1998 年。Singsong)

\*LE VENT DU NORD: Tetu B

(ケベックのトラッド・バンドの Le Vent Du Nord の通算八枚目に当たる新作。これまでもそうだったが、Le Vent は 4 人編成 [楽器編成はギター、ベース、ハーモニカ、ギター、アコ、ベース、ボンバルド、フィドル、マンドリン他] で固め、ケベック・トラッドのルーツの音楽を固持し、ケベック・トラッド特有のダンス音楽のリズムを最大限に生かし、活気ある今日のケベック・トラッドを創作する。ダンスのリズムに乗ってうたわれる唄の数々はケベック・トラッドの独特な味わいを発散する。2015 作。Borealis)

\*WENDY MacISAAC: Off the Floor C

(ケープ・ブレトンのフィドルの名手の Wendy MacIsaac のおよそ 10 年ぶりの新作。Tracey Dares MacNeill (チェロ) と Patrick Gillis (ギター) を誘って、ライブ録音盤を出そうと録音を始めたのが、2005 年。この年に録音したのが最初の 5 トラック。そしてそれから 9 年後に二人を誘っ

てまた録音。滅茶苦茶凄い。皆さん、カナダの東の端まで行かずとも、ケープ・ブレトンの音楽が疑似体験できますよ。2014 作。Wendy MacIsaac)

- \*MARY JANE LAMOND: Suas E! (1997 作。カナダ A&M) A
- \*LE REVE DU DIABLE: Delires Et Des Reels A  
(79 年作の 3 枚目。彼等のケベック・トラッド 色濃厚な土臭い演唱は今聴いても鮮烈。ケベック・トラッド の模範。79 作。Tamanoir)
- \*LOREENA McKENNITT: Elemental A  
(リマスターマルチメディア機能付 CD と DVD の 2 枚組。限定盤。85/2004 作。Quinlan Road)
- \*LOREENA McKENNITT: Parallel Dreams A  
(リマスターマルチメディア機能付 CD と DVD の 2 枚組。限定盤。89/2004 作。Quinlan Road)
- \*LOREENA McKENNITT: The Visit A  
(リマスターマルチメディア機能付 CD と DVD の 2 枚組。限定盤。91/2004 作。Quinlan Road)
- ※DVD は国内プレイヤー再生可能。
- \*LOREENA McKENNITT: Winter Garden a  
(5 曲入 CD シングル。95 作。Quinlan Road)
- \*ANDREA CAPEZZUOLI E COMPAGNIA: Suonato Coi Piedi! C  
(イタリアのケベック・トラッド・バンド。La Bottine Souriante や Le Vent Du Nord とも交流のある本格派だ。2008 作。FolkClub Ethnosuoni)
- \*THE BARRA MacNEILS: Christmas Album A  
(軽快なジグで幕開けする MacNeils 兄妹バンドによるクリスマス・アルバムはアイリッシュ〜ケープ・ブレトンの伝統音楽色を色濃く打ち出しつつ、クリスマスに家族兄弟で祝う優しさとしら楽しさ溢れるもの。ゲール語のアカラヤステップ・ダンスも有り。クリスマスにケープ・ブレトンの伝統音楽一家の楽しいクリスマス・ケリーに迷い込んだ感触。2006 作。Fontana)
- \*THE BARRA MacNEILS: Rock In The Stream (89 作。PolyGram) A
- \*THE BARRA MacNEILS: Closer To Paradise (93 作。PolyGram) A
- \*THE BARRA MacNEILS: The Traditional Album A  
(94 作。PolyGram)
- \*THE BARRA MacNEILS: The Question (95 作。PolyGram) A
- \*THE BARRA MacNEILS: Racket In The Attic A  
(2000 作。Barratone)
- \*NATALIE MacMASTER: Fit As A Fiddle B  
(カナダ 盤原盤にて入荷。93 作。カナダ Warner)
- \*NATALIE MacMASTER: My Roots Are Showing B  
(カナダ 盤原盤。98 作。カナダ Warner)
- \*NATALIE MacMASTER: In My Hands B  
(カナダ 盤原盤。99 作。カナダ Warner)
- \*NATALIE MacMASTER: No Boundaries (96 作。WEA) B
- \*NATALIE MacMASTER: Blueprint (2003 作。Rouder) A
- \*PAMELA MORGAN: On A Wing And A Prayer B  
(ニューファンドランドのトラッド・ロック・バンドのヴォーカル。Pamela のたおやかなソロ。うっとり…。"Blackwater Side"を含む 11 曲。96 作。A&M)

- \*FIGGY DUFF:Weather Out The Storm(3rd.宝物。Amber Music) A
- \*FIGGY DUFF:Down Stream(4th. Amber Music) A  
(フェアポート・スタイルのニュー・ファンタランドのフォーク・ロック・バンドの老舗)
- \*KATE AND ANNA McGARRIGLE  
:The McGarrigle Christmas Hour A  
(Kate&Annaのクリスマス・アルバム。Rufus&Martha Wainwright もほとんどのアルバムでヴォーカル参加。今昔家族の写真を眺めながら聴こえてくる音楽はKate&Annaの家庭的だが、ひと味もふた味も違うクリスマス音楽。2005作。Nonesuch)
- \*ASHLEY MacISAAC:Close To The Floor(デビュー作。92作。A&M) A
- \*ASHLEY MacISAAC:Hi How Are You Today? A  
(95作。Ancient Music)
- \*ASHLEY MacISAAC:Fine Thank You Very Much A  
(96作。Ancient Music)
- \*ASHLEY MacISAAC:Ashley MacIsaac B  
(神懸り。絶品。w. Mary Jane Lamond, Lisa MacIsaac, etc. 2002作。Decca)
- \*ASHLEY MacISAAC:Live At The Savoy B  
(ケープ・ブレトン・フィドル・回帰のAshleyのすっぴんフィドル・ライブ。入魂のケープ・ブレトン・フィドル! 2004作。Linus)
- \*STAN ROGERS:From Fresh Water(宝物。84作。Fogarty's Cove) B
- \*STAN ROGERS:Poetic Justice(宝物。96作。Fogarty's Cove) B
- \*STAN ROGERS:From Coffee House To Concert Hall B  
(未発表ライブ集。全20曲。99作。Fogarty's Cove)
- \*HART-ROUGE:Jai Fait Un Reve B  
(フレンチ・カナディアン・トラッド・バンドのHart-Rougeの本作ハイテクの機械的な、あるいはロックっぽい、あるいはアフリカンっぽい味付けで挑発的。2001作。Universal)
- \*RAWLINS CROSS:Reel'n' Roll(93作。Ground Swell) A
- \*RAWLINS CROSS:Living River (96作。Ground Swell) A
- \*RAWLINS CROSS:Celtic Instrumentals(97作。Ground Swell) A
- \*DAVE MacISAAC:Nimble Fingers C  
(D. MacIsaacは知る人ぞ知るケープ・ブレトンのケルティック・ロック・ギターの名手。得意のフェンダーのエレクトリック・ギターのケルティック・ロックとアコースティック・ギター、フィドル、マンドリン、トブロー等によるアコースティック・ケルティック・トラッドの両刀使いで唸らせる。全19曲。95作。Pickin' Productions)
- \*RITA&MARY RANKIN:Lantern Burn(デビュー作。宝物。Ingold) C
- \*RON HYNES:Face To The Gale A  
(Mary Blackの名唱で有名な“Sonny's Dream”の作者。“Sonny's Dream”も収録のケルティック・トラッド系SSWの97年作。w. Pamela Morgan, etc. 97作。EMI)
- \*ANITA BEST:Crosshanded A  
(民謡研究者でトラッド・シンガー、Anita女史の無伴奏ソロ。ニュー・ファンタランドの伝承歌集。w. Pamela Morgan。曲目解説付。97作。Amber)
- \*YVES LAMBERT:Les Vacances De Monsieur Lambert A  
(La Bottine Sourianteのリート・シンガー&ホックス奏者Yvesの懐の深いソロ。

傑作。98 作。Mille-Pattes)

\*LES BATINSES: Tripotages (2000 作。Mille-Pattes) A

\*LES REJOISSANCES C

(2 枚組 CD。70 年代活躍したケベックのトラッド・バンド / フォーク・ミュージシャンによるライヴ。Le Reve Du Diable, Alain Lamontagne {彼は約 20 年前当時八王子の姉妹リンを訪れたことがある、ハーモニカを持って}、Quebreizh, Michael Garneau, etc. 77 録音。Tamanoir)

### [CD/AUSTRALIA]

\*KATE BURKE&RUTH HAZLETON: Swapping Seasons B

(オーストラリアの女性ヴォーカル・デュオの珠玉の 3 枚目。2002 作。Kate&Ruth)

\*KATE BURKE & RUTH HAZLETON: Summer's Lonesome Tale B

(音楽的にはアイルランドとイギリス系フォーク・ミュージックとアメリカのオルト・タイム・ミュージックの要素がスムーズにブレンドされた Kate&Ruth の 2007 作。Paul Brady の名唱でお馴染みの "I Am A Youth That's Inclined To Ramble" や "Barbara Allen" や "The Cookoo" 等の伝承歌他全 11 曲。どれも唄の背景の土地のフォーク・ミュージックの土臭さを伴って Kate&Ruth 流にそれぞれ耳に心地よくかつ新鮮。ゲスト: Andy Irvine, Bruce Molsky。2007 作。Tradsville)

\*JEFF LANG: Half Seas Over A

(オーストラリア人ギター奏者で SSW の J. Lang の本作はアメリカのフォークやブルスの根源へと一心を傾けた謙虚な傑作。集中力ある細心のギターの絶妙さにも心奪われるが、Jeff の物語を語るような唄の間と空気感が素晴らしい。ギターの音も唄も心に沁み渡る。2008 作。Furry)

\*PAUL TURNER: Clear Blue A

(第一印象は Nick Drake っぽい。Paul の唄は徹底して美しい。光を求めて旅するような唄の世界で、アコースティック・ギターとエレキ・ギターの音色も調べも、彼の唄に相応しく、輝いている。星が一本の木にいっぱい生っているジャケットというジャケット意匠そのままの夢見心地の唄と音楽。至福。2008 作。White Lotus)